

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅱ	2	後期	必修	いいえ	95

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の精神習得の出口の部分を担当しているため、キリスト教学Ⅰの聖書の学びから発展させ、幅の広い教養を身につけるため、多岐に渡る内容のキリスト教芸術と文学に触れ、視野を広げる授業展開を行った。また、授業以外のチャペルの参加や、教会訪問なども評価に取り入れ、授業外でキリスト教に触れる体験の機会を設けた。</p> <p>②毎回の授業中に記入するポートフォリオでの学びの確認だけでなく、チャペルポートフォリオを導入し、毎回のチャペルのまとめを記入するようにした。出席率でしか評価できなかったチャペルでの体験的な学びを、総合的に把握することができるようになった。</p> <p>③後半で行うグループ発表の機会は、学生の関心にあわせて展開し、様々な角度からキリスト教について学びあう事ができた。</p> <p>④学期の最後に「感恩奉仕と私」というタイトルでレポートを書き、2年間のキリスト教の学びの集大成をひとつの文章としてまとめる作業を行った。これによって、学生が聖書やキリスト教教育の学びから何をうけとり、卒業していくのかが良く見えるようになった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては4.1ポイントであった。到達度の自己評価の平均値は(4.0)。トータル成績の平均値は約80%以上。チャペルの出席率約75%以上とコメントカードの内容、教会訪問の出席率約90%以上と感想文の内容から、感恩奉仕の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。</p> <p>また、「感恩奉仕と私」というテーマの学生のレポートの内容から、90%以上の学生が、聖書について、キリスト教について、人生の基盤となるべき学びができたことから、全体をとおして教育目標が達成されたと言える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となる聖書の内容を学ぶ「キリスト教学Ⅰ」の学びを踏まえ、展開している。聖書の学びを前提としての発展的な学びであるが、全体的に一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書を土台として考察し、キリスト教に関連するテーマをグループで調査・発表するという行動目標については、昨年同様学生たちが意欲的に取り組み、講義だけでなく、グループでのアクティブラーニング形式を取り入れたため、学生自らで習得した内容も多く、内容的に妥当であったと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価についての平均値は(4.1)であった。昨年度より、チャペルポートフォリオを導入したことは、チャペル出席へのサポートとなった。チャペル出席はキャンパスライフにもあるように、1年間をととして3分の2の出席を必要としている。キリスト教学がない2年生前期のチャペル出席について検討が必要である。</p> <p>本講義は、興味のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.1であったが、引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>①必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の集大成として学ぶ科目であるが、キリスト教学 I を発展的に展開していく上で、I での学びが重要である。I の復習も II での講義に加えつつ、学生が中心となって行うディスカッションや調査・発表を取り入れ、学生が主体的に授業を展開できるように促している。授業の最後に記入するポートフォリオやチャペル出席・教会訪問に加え、チャペルポートフォリオを導入し、さらに関心あるテーマについてグループで調査・発表し、最後に「感恩奉仕」とは自分にとってどのような意味を持つか、自分自身の内面の変化を洞察していく作業をおこなったため、前年度より、内容が深まったと言える。引き続き、学生の興味関心を引き出し、「感恩奉仕」について日常的に考えることができるよう促すことが課題である。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	末嵩 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育原理	1	後期	必修	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①卒業必修科目であり、資格に必要な科目のため、全員履修した。 ②保育に関する基本的な理念や概念の整理などを行う授業であること、特に基礎となる知識習得を重点的に学ぶよう開講時に説明を行った。試験についても持込を行わないことなど方法に関しても詳しく説明をしている。 ③授業の進行には、ノートプリントを用いた。穴埋め形式のため、キーワードとなる言葉や概念の整理と共に、どのような学習の経過を辿ったか分かるように工夫をしている。自分の考えやアイデアを記述する欄も設け、それに基づいて意見発表ができるようにしていたが、部分的な場面に留まり、全体的に意見をまとめるような工夫が必要であると感じている。 ④こちらが配布するプリント以外に、自発的にノートをまとめる学生もいた。参考書籍等も適宜紹介を行った。しかし多くの学生(75%)が課題以外の自発的な学習に取り組んでいないことが分かった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		どちらもいえない		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終成績の平均値は76.8、再試対象者が9名、秀および優は30名(40%)であった。2017年度より、平均点が6点以上上がっている。再試験では1名の欠席があったが、受験者全員が合格し一定の知識理解はできたと判断する。 一方で、予習復習をしなかった学生が46%、課題以外の学習に取り組まなかった学生が76%おり、その理由として、自由記述で「授業中で理解していた」「課題で十分だったから」と答えた学生がいた。授業以外の課題に取り組んだ学生は「復習した」「暗記した」「ノートを作った」と具体的な学習方法を答えている。自主学习に結びつけることができる学生と出来ない学生がおり、DP3に関しては、意欲や関心を十分に引き出せたとはいえない結果となった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPからみた内容的妥当性について、本科目は「専門教育科目」の「保育の品質・目的に関する科目」の一つで、必修化されている。内容的には妥当であるが、実習に行く前に身につけるべき知識等もあり基礎的内容を主に行うことから考えても、一年生前後に位置づけることが望ましいと考えられる。 ②DP、行動目標からみた内容的妥当性について、最終成績が76.8点で再試受験者も全員合格したことから一定の知識の獲得と保育に対する理解は得られたと考える。ただし、上述したように意欲関心を十分に引き出せていないため、今後何らかの工夫が必要だと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、「テスト、レポート、提出物の評価基準は明らかであった」という項目に「少しそうでないと思う」と答えた学生が3名いた。開講時にシラバスを確認し、評価基準については説明をしていたが十分理解されていなかったとらえ、今後は授業進行時にも重ねて説明を行いたい。</p> <p>また「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた」については平均3.5、「そうでない」「少しそうでない」を合わせて10名の学生が答えており、教員からの質問を増やしたり、発言の機会を設けたり等の参加型の学習ができるよう検討したいと思う。</p> <p>原理系科目ではあるが「楽しい授業だった」と答えた学生がおり、こうした学生が一人でも増えるよう学生の学習意欲を引き出すさらなる工夫を考えたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>原理系科目であり、学生にとっては堅苦しい内容が多く、取り付きにくいイメージもあったのではないかと考える。知識獲得が重点目標だったため、こちらからの説明がどうしても多くなり、その結果、自発的な学習がなされていないことを考えると、「授業に参加しながら知識を習得する」方法を導入したい。</p> <p>また、学生が学習の達成感を味わえるよう、その都度学習の積み重ねの振り返りができるよう工夫したいと考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会福祉	1	後期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業の実施に当たっては、社会福祉がわれわれの生活に密接にかかわるものであることへの理解を促すとともに、福祉の専門職である保育士に求められる知識の獲得に向けて、適宜、具体的な事例を用い、現場実践に引き付け学びを得ることができるよう心掛けた。また授業開始時に小テストを実施し、予習、復習に対する意欲の向上と学習状況の把握につとめた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績評価としてS-19名、A-21名、B-12名、C-22名であり、S、A評価を取得した学生が全体の約54%であった。また再試対象者は7名であった。他方、学生による授業評価をみると、「達成度自己評価」では、概ね「まあまあそうだと思う」以上の評価である。しかし、いくつかの項目で1～2名の学生が「少しそうでないと思う」と評価している。標準的レベルに達しなかった学生や達成度の自己評価において課題を残した点から鑑みて、達成の有無についてはやや達成されたと考えらる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられるもので、福祉系科目の基礎となる科目の一つである。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。DPでは、学生による授業評価の知識理解の観点での自己評価について、全ての回答者が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。以上のことから内容的妥当性に問題は無いと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度も学習環境の質の向上を目的に、リアクションペーパーの活用や授業時間内に質問の時間の設定、配布資料の改善等の取り組みを行った。またその結果、授業の質評価の全ての項目で、回答者の約98%から「まあまあそうだと思う」以上の解答を得ることができた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。 今年度も、昨年度同様、学生の授業理解を促すための改善(情報提示の方法、配布資料の内容の見直し、質問しやすい環境づくり等)を行った。今後も学習環境の質を向上させるべく、継続的に取り組んでいきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育の心理学Ⅱ	1	後期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。「保育の心理学Ⅰ」(前期)で学修した子どもの発達を踏まえた上で、より実践に即した保育者の援助の仕方について学べるよう配慮している。受講初期は夏期の保育所での自主実習での体験から予測できる事例検討を行い、後期に行われる「教育実習Ⅰ」(幼稚園5日間)を体験した後は、卒業生から出された事例や日誌を基に個別及びグループワークを行いながら検討している。各事例には複数の対応が発表されるが、最後に教員による全体的考察を加えることにより、多様な対応についての保育者の援助の意義について意味づけを行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均83点(最高点100点、最低点65点、A-15人、B-37人、C-22人、D-1人、E-0人)である。昨年度の課題であった全体的評価の向上については達成できた。学生の到達度の自己評価では「コミュニケーションや表現力を高める」が3.7と最も低い値となっている。グループワークを多く取り入れ、互いに意見を出しあいながら授業が展開できるようにしていたが、学生の到達度の自己評価にはつながっていない。「到達度自己評価」における「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」が最も高い平均点となっている他、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」や「職業選択の参考になった」と続いていることより、本科目の教育目標がやや達成されたと考えられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられており、幼稚園教諭免許(必修)、保育士資格(選択)の科目である。受講生は両資格またはいずれかの免許・資格の取得を希望する目的があるため、受講の意欲は比較的高く、積極的に授業に臨む姿が見られる。また、実習後の面談の中で、本講義の学びを実践の場で活かしている学生が複数みられた。まだ未熟ではあるが保育者としての視点の持ち方、援助の仕方などを試行錯誤している様子がうかがえる。以上の事より、内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>演習科目であるため、学生が積極的に考え、話し合い、まとめ、発表する機会を多く設けるように心掛けた。しかしながら、学生の到達度評価においてコミュニケーションの項目評価が低かった。グループワークを通して身につけられると考えていたが、不十分であったようである。学生の自由記述にもグループワークの時間配分についての指摘がなされていた。決められた時間内に少しでも多くの事例検討を行いたい、との思いが教員にはあったが、それにより進度が学生が望む速さを上回っていたかもしれない。今後、事例検討を行う際は、学生の様子を確認しながら進めていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。上記の課題を意識しながら、今後も学生の経験に即した授業を展開することができるよう心掛けたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
臨床心理学(カウンセリング含む)	2	後期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>選択科目であることから、授業の詳細は学生のニーズに対応して組み立てられるよう柔軟に対応した。また、活動を多く取り入れ、学生が体験的に学べるように配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された		やや達成された	達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価の平均は86.5点と高い。これは、授業中に学んだことのまとめや、体験したことの振り返り、あるいは自分についての心理テストを用いた総合所見のレポートにより評価されている。いずれも、実践したことを内省し、考察する課題である。これらの課題に積極的に取り組み、十分な内容であったためにいずれの学生にも高い評価をしている。以上のことから、それぞれの学生は、目標を達成しているものとする。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育の対象理解に関する科目であり、保育者として現場で適正に考え、判断するための知識と応用力を培う科目である。学生の達成度評価でも「的確に判断する力を得ることができた」に対して回答の平均値が高く、内容的妥当性があるものとする。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>2年生の後期は卒業後の現場での実戦に向けて、短大での学びの集大成の時期である。そのことに配慮して、選択科目である本科目は、できるだけ授業時間内の活動と課題への取り組みを充実させるように工夫した。また、授業内容について感想を述べ合うことも理解を深めるために必要な復習であることを学生に説明し、積極的に行うように促した。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>カリキュラムないでの位置づけに対して、概ね妥当な内容で実施できていると評価している。また、学生の達成状況も十分であると考えている。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こどもの保健 I	1	後期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、保育士資格取得のための必修科目です。授業評価アンケートでは「必修科目である」もしくは「資格取得に必要である」のどちらかで回答しており、科目の位置づけをきちんと把握して受講してくれていることが分かります。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない			
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績評価として、「秀」27%、「優」33%、「良」25%、「可」15%であった。「可」には、4名の再試験者を含みます。講義をしての手応えは、この成績評価そのものであり、十分に手応えを感じることはなかったです。その結果が、授業評価アンケートに現れているように感じます。授業評価アンケートの「2. 到達度自己評価」の平均値を見る限り、成績評価の分布は妥当ではないかと分析します。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	DP,CP,カリキュラムマップ上の位置づけから見た内容は妥当であると思っています。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目の特性、カリキュラムマップ上のこれからの科目の流れに基づく位置づけは、例年通り1回目の授業の時にオリエンテーションとして十分な時間を取って説明をしました。しかし、決して理解されたとは思えない手応えでした。今までにない現象としては、授業中他の科目の課題をしている学生、ずっとお喋りしている学生、ずっと窓の外を見ている学生、が目立ちました。まじめに受講している学生とそうでない学生の格差が大きく、どこに焦点を当てるべきか随分悩みました。また、シラバスですでに「教科書〇〇ページを読んでくること」と明記しているにもかかわらず、読んでくることなく、教科書する持ってこない学生もおり、そのような学生ほど、授業のペースが速い等陰で言っているのを他の学生が教えてくれます。本科目は、他の科目の様に「あそび」を教授する科目ではなく、どちらかというとシビアな内容になります。子ども達の生命にかかわる内容であるため、真剣に受講する学生は、自己学習も素晴らしく、ノート作りも出版社に売ってもいい程の出来栄です。この格差をなくすことは最大の課題であると認識しています。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>授業評価アンケートの自由記載には、「機嫌がわるいことがクラスの雰囲気を悪くしていることが分かっていますか」と書かれていました。その他にも「機嫌が悪い」という記述が必ず含まれていました。授業態度が悪い学生の前で、しかも、子どもの生死にかかわる内容を授業で扱っている中で、ニコニコ笑いながら授業することは私にはできません。例えば、白血病を取り扱う時は、白血病で懸命に闘っていた子ども達やそのご両親、そして、亡くなった子ども達のことを思いながら授業をします。私の中では、ニコニコ笑顔でその子たちの病気の話をすることはその子達に失礼であると思っています。だから、いつも真剣に授業をしています。この授業評価アンケート結果を受け取ってから、卒業生に手伝ってもらい、どのように授業をしたらいいのか、模擬授業もしてみました。卒業生からは「辞めて欲しい」と言われました。科目の性質が違っていると指摘されました。また、配布プリントについても意見が多くありました。スライドに用いる写真は、私自身が臨床の頃撮った写真やドクターたちからいただいた写真が多くあります、ゆえに安易にプリントアウトできないと認識しています。スライドをプリントにして配布して欲しい、スライドを()埋めで記載できるようなものにしてほしい、という意見もありましたが、他の科目では有効な方法であってもこの科目には適さないということを理解していただきたいと思います。対策として、早速、2019年度「こどもの保健Ⅱ」の最初の授業でアンケートを実施しました。アンケートを実施した理由は、授業評価アンケートの意見を全受講生の意見として反映すべきかどうか疑問に感じたからです。アンケートをしてみると予想通りでした。9割の学生さんは、この科目の特性を理解してくれており、私が真剣に授業していることを分かってくれていました。また、定期試験を持ち込み可にすることや、ノート作りを止めること、プリントのことも、全て自由記載に書かれていた項目を問いました。結果、1割弱の学生の意見であることが判明し、また、アンケートに答える際、一部の学生で、お互い回答を合わせる作業をしていたことを目撃しました。今回、持の不安を寧ろ、改めず、自らを恥、正しい判断ができません。これを克服し、授業評価アンケートの自由記載を参考に、授業の進め方を改善してまいります。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの保健演習	2	後期	選択	いいえ	93

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 本科目は、保育士資格必修科目ですが、幼稚園教諭2種免許のみ取得する学生や卒業のみの学生も受講してくれていました。そのため、「受講動機」は、「必修科目である」と回答した学生が77%、「資格取得に必要である」と回答した学生が59.8%、「関心のある内容である」と回答した学生が5.7%、「単位数を確保する」と回答した3.4%でした。保育士資格を必要としていない学生が受講動機を「単位数を確保する」と回答したと考えられますが、受講態度はすこぶる良好であり、積極的に演習をおこなっていました。</p> <p>② 使用する教科書を変更し、演習のメモを教科書に直接書き込めるように、できる限り、教科書の手順に沿って演習をおこないました。授業終了後の復習は、巻末の演習問題ができるように促しました。また、シラバスにも記載しておきました。授業評価では、「3. 授業の質評価 (2) 期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値が4.3からも、受講生の取り組みは良好だったのではないかと考えています。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績で再試験対象者は、0名でした。全員が標準的レベルに達しており、8割以上の受講生が理想的レベルに達していました。この結果は、授業評価の「2. 到達度自己評価(1)自分なりの目標を達成した」の結果とほぼ合致しており、最終的な成績として提示した評価とほぼ一致したのではないかと考えています。このことから、評価の妥当性はあると判断してよいのではないかと考えています。</p> <p>さらに、本科目の特性として、1年生後期から始まる「こどもの保健 I」、「こどもの保健 II」を踏まえ、保育現場に即した実践的内容を演習で学ぶ科目であるため、新たな知識の獲得というよりは、今まで養った知識をどう活用していくかが重要であるため、DP2とDP5の比率が高くなります。このことは、受講生達も認識しているところであり、裏付けとしては、それぞれの演習で課す振り返りシートの記述で読み取ることが出来ます。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>上記のように、本科目は、1年生後期から続く一連の科目であるため、カリキュラムマップ上の位置づけは明確であり、各期にそれぞれの科目の位置づけと共に、今後どのように学びを発展させていくかをオリエンテーションで説明しています。そのため、受講生達は、よく理解をして以前の科目のノートを持参のうえ受講しています。DP、CPについても本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、厚生労働省から出ている内容に則って授業を組み立てているため、内容的妥当性は担保されていると認識しています。内容は提示されていますが、具体的な方法までは言及されていないので、本科目は「演習」科目であることから、技術を身につける科目として内容を組み立てています。受講生からは、「地元の友人は、同じ保育科に通っているけど、DVDや資料の提示だけで実技は何もない。実技で色々学べて羨ましい」と言われたと言っています。保育という実践学では、やはり技術的な習得は不可欠と考えます。その為にも、本科目は技術を中心とした内容を準備することが重要だと思っています。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目は、技術習得に視点を置いているため、授業時間内にいかに集中して真剣に取り組むかを求めています。そのため、自己学習は他の科目と比較して求めることはほとんどありません。しかし、教科書(本科目はノートではなく教科書を活用するよう求めています)に自分で調べたことやその資料のコピーを貼付している学生も複数名おり、演習が受講生達の学習意欲のきっかけになっているのではないかと考えています。</p> <p>技術は、多岐に渡っての内容のため、1つ1つをじっくりと時間をかけて(日にちをかけて)できる科目ではありません。そのため、1回1回を授業時間いっぱい使って演習をおこなうようにしています。そのため、演習の準備と後片付けは、受講生には課しません。今年度は、教育支援職員さんが1名入ってくれたおかげで、演習に集中でき、時間も例年になく充分とることができました。技術演習を有する科目は、科目担当者1名で20名強の学生数を見ることは困難です。やっとなんが叶い、演習に入ってくれたことは、演習の効率向上につながったと感謝しています。次年度も同様な環境で演習ができればありがたいと思っています。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>今年度の受講生は、期を経る毎に受講への意識も高まり、小児保健の最終的な科目である本科目への取り組み姿勢がとても良好でした。さらに、教育支援職員さんが入ってくたさるという演習環境も改善され、今までにない内容の充実を持って授業が展開できたのではないかと考えております。その成果が、成績評価に現れているように思います。次年度も更に技術習得が充分できるような環境を整えていければと思っています。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	村上 里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育・教育課程論	1	後期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>座学において可能な限り保育現場の具体的な事例を挙げながら、「保育課程・教育課程」の大切さを講義してきた。しかし、目の前に実際のこどもの姿はなく想像の世界での教育課程・保育課程のイメージは、かなり困難で、且つ個人差があるのは当然であると思われる。それ故に、学生の到達度自己評価があまり高くないことにも納得ができる。また、受講動機が「必須科目である」が91.3%、「資格取得に必要である」が43.5%と、「取得しなければならない」気持ちから受講しており、「自ら学びたい」とする意欲に刺激が与えられるような授業の工夫が一層求められていると感じている。更に、就職後の保育現場における「教育課程(保育の計画)」と「指導計画案」の関係が理解できるようにしていきたい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された				やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的にまとめを兼ねたミニテストを実施した。また、それに出席点と授業貢献度点を含めて成績とした。成績店の平均値は、ABクラスが90.84点、CDクラスが87.6点とかなり高く、全員が標準的レベルに達していた。しかし、授業貢献度の低い学生1名が残念なことに単位を落としている。態度(DP4)として、図書館利用や予復習時間が増加するような働きかけや授業の工夫が求められているのだと考えられる。次年度の課題としたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については、91.3%の学生が、「必須科目である」ことで受講しているのが現状である。「保育課程・教育課程」をより魅力的な授業にしていきたいためには、「子どもの姿を読み取る」→「その姿からねらいと考える」→「ねらいを達成するための予想されるこどもの活動」→「その活動を刺激する環境構成を考える」→「保育者の援助」の関係を、より詳しく、また具体的にワークできる時間も必要であったのだろうと思われる。内容については、次年度の課題としたい。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「保育課程・教育課程」の性質上、理論での説明が主になってしまう。その為にテキストを中心に、保育現場の事例をもとに講義するようになってきたが、学生の理解や受講動機には不十分であったかもしれない。理論を必要としながらもアクティブラーニングができる時間も確保したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の「自宅学習時間増加」と「保育理論の理解向上」「学習への動機づけ」への工夫手立てとして、テキスト中心の授業のみでなく、「図書館で調べる」「新聞や雑誌を読み解く」「実際の子どもの姿から、行動の意味を考える」などの課題やグループワークをする時間を設定するなどの授業の工夫が、次年度への課題であると考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	末嵩 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「環境」	1	後期	選択	いいえ	80

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①資格必修科目のため、受講動機にはそれが反映されている。 ②演習科目であるため、実技とグループワークを積極的に取り入れた。また外部講師を招き、「環境」への理解が深まるような内容も盛り込んだ。実技にあたっては、事前の準備の必要性も説明しており、また振り返り学習をその都度行うようにした。 ③単元毎にプリント課題を課し、学習の振り返りとまとめができるように工夫した。プリントやレポートについては評価の対象となることを説明し、×切を守って提出するよう促した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>最終成績の平均は77.7点、秀および優は40%、再試験該当者は7名であった。再試験では、全員が合格のレベルに達している。そのため、DP1の知識理解については「やや達成された」と捉えてよいと考える。期末レポートに関しては、昨年度より課題レベルを平易化し、学生自身が達成感を持てるような課題設定を行った。そのため、昨年度より平均点が大きく上がることとなった。 授業内で課していた小レポートに関しては、単元毎に振り返りができるよう作成していたため、その都度の振り返りに関してはできていたと思われる。この小レポートに関しては意欲関心につながるよう設定していた。 実技やグループワークを行い、DP5の技能表現を達成するよう設定していた。実技は昨年度より機会を増やし、振り返りレポートから察するにおおむね好評であり、楽しみながら学ぶことができていたと思われ、「やや達成された」と評価できる。 以上、2つのDPの達成度から鑑みると全体を通しては「やや達成された」と評価したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CPでは「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付いている。保育の5領域に関する内容を扱う科目であり、内容的に妥当であるとする。DPでは「知識理解」「技能表現」を問うように設定している。演習科目であるため、学生の参加意欲をより引き出せるような工夫を行っていきたい。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方について、教室に限らず、屋外環境なども用いて授業を行ったりした。面倒がる学生も少なくなかったが、実技の授業は結果としては学生が楽しみながら学ぶことができ、環境遊びの技能向上につながったと考える。ただし、後期は秋～冬にかけての授業期間であるため、屋外での実技は季節の良い開講直後の時期にならざるを得ない。準備学習よりも振り返りの学習に重点を置きたいと考える。</p> <p>昨年度には「課題が多い」という意見があったが、課題の提示の時期をずらし、内容を平易化したため今年度はそうした意見は見られなかった。</p> <p>また、評価基準に関しては、明らかでなかったとらえる学生が2名いた。提出物などの提出状況については都度学生に説明を行っていたが十分に理解できていなかったとらえる。</p> <p>グループワークや実技などを複数回取り入れているが、「学生が参加する機会が作られていた」が3.7とそれほど高くない結果になっている。実技やグループワークの参加意識付けを行っていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>保育の5領域に関わる内容であり、より具体的に体験的に学ぶ授業だと考えている。実技や授業への積極的な参加を通して意欲を高めることができるのでは、と考えていたが、思ったほど参加意識が高まっていないという結果が授業評価から分かった。学生が、この授業を通してなにを自己課題にすべきか、また自分にどんな学びが必要かを考え、参加意識が高まるような工夫が今後必要だと思われる。</p> <p>保育のとらえ方について様々な視点を持ち、日常的に保育環境への関心を持てるような教材の提供をしなければならないと考えている。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	河瀬 洋美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「人間関係」	2	後期	選択	いいえ	93

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①保育者として周囲の人間関係を保ちながら、日々の保育を行うことができるよう、具体的な事例を挙げることを心がけた。 ②テキストを採用し、自宅学習ができたらと思ったものの、大半の学生は予習、復習等はしていなかった。 ③しかし、授業で丁寧な事例検討を実施したことは有効であったと考える。 ④ミニレポートとして、事例検討や自分自身の保育への気持ち等をまとめる機会を作ったが、考えをまとめたり記述することはほぼ全員が良くできていた。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	どちらともいえない				やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	人間関係という科目は、保育のみではなく一生ついて回る重要なものである。自分自身はもとより保育される子ども達、その周囲を囲む様々な人々を視野に入れてしっかり生活し、かつ、のびのび生きていってほしいと願って授業を組み立てた。 学生の達成度は「3、6」であまり高くなかったため、次年度に向けて現場のやり取りをより、わかりやすく理解できるよう、時々の実践事例研究や自分自身を振り返るレポート等が続けたい。 基準や評価は、レポートと最終の小論文、授業貢献度等で行った。記述が得意な学生は高評価になった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	達成度自己評価は平均値3.6であった。 専門分野において、「人間関係」は人との関係性を的確に判断する力が求められるので、一層、具体的にわかりやすい授業を目指したい。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>テキストを採用して進めたが、次回の授業の予習ができるようにしっかり指針を示したい。 学生からの自由記述に、何をすればいいかわからなかった、することがなかった等あり、授業に対して学ぶ態度が消極的だったという現実がある。 一人一人がどのような気持ちで臨んでいるのか的確に捉えたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>達成状況としては満足できるものではなかった。 テキストを採用しているので、次回の課題を示しつつ、有効活用して実りある授業を実施したい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	末嵩 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育メディア演習	2	後期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①資格取得に必要な科目であるため、受講動機はほとんどが「必修」「資格に必要」と答えている。</p> <p>②もう一人の担当者と明確に分担した。メディアと子どもの育ち、保育や育児に関わるメディア環境の影響など、子どもの育ちから見たメディアと保育者としての関わりの方について学ぶような内容にした。</p> <p>③演習科目であるため、アクティブラーニングを意識し、ディベートや発表などを取り入れた。学生自身が置かれているメディア環境(スマホ依存など)や自分自身の経験を活かすようなテーマ設定を行った。その結果、「ディベートが思ったより楽しかった。授業を機に、みんなと保育にメディアはいるのかを考えられて良かった」との自由記述意見があった。「保育にメディアは必要なのか」という根源的な問いに、授業を通して学生が出会えたことに非常に良かったと思われる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終成績の平均値は74.6、秀及び優は43%、再試験該当者は12名だった。再試験は授業内課題の未提出が多かった者、期末レポートが未完成だった者が対象となった。平均点やレポートの内容から、DP1の知識理解は「やや達成された」と評価できる。</p> <p>また、授業内小レポートを8回中4回課し、それらの小レポートやディベートや発表の内容から「保育に必要かどうかを含めて、自分なりに、メディアとの付き合い方を考えていく態度」が養われたことがうかがえたが、学生の評価では「課題を検討する力」「的確に判断する力」が共に3.7であり、DP4の態度に関しては「やや達成された」と評価できる。</p> <p>ただし、学生の自発的な学習に関しては、授業の課題以外の学習に64%が「していない」と回答するなど、自発的学習につながっていないことがうかがえる。ただし、小レポート、期末レポートとも下調べが必要な課題であったため「分からないことを調べた」「調べ学習をした」と記述した学生が複数おり、課題設定により自分なりに学習を深められる姿がうかがえる。</p> <p>以上の結果から、全体を通して「やや達成された」と評価したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目はCPにおいて「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付く科目の一つである。保育の方法に関わる内容であり、様々な保育の方法があることを知り、卒業を控えた学生たちが今後どのような方法をとるべきかを熟考する内容であるため、妥当であると考えられる。</p> <p>DP1に関して、今後、子どもとメディアを巡る環境はますます変わっていくものと考えられる。卒業後も継続的に関心を持ち、常に問うていける姿勢を持ち続けるためには「思考判断」や「意欲関心」を高められる内容も盛り込んでいく必要があると思われる。今回の授業内容では、DPの位置づけは妥当であったが、これからの授業展開として課題としていきたい。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、ディベートや発表の機会を多く持ったにもかかわらず「学生が参加する機会が作られていた」が3.7に留まった。全員参加型での授業形式にも関わらず、この結果だったのは学期の早い時期での実施が多く印象が薄れてしまったことや、学生の参加意識の差があったのかと推察する。参加意識を高めるような働きかけや工夫などの改善を試みたい。また、日常的にメディア環境と子どもの育ちの問題に関心を高められるような内容、できるだけ新しい情報に即した内容に基づいて授業内容を組み立てていきたい。 自由記述で学生からの意見があったが、別担当者への意見と思われる内容であったため、別担当者とも十分に検討しておきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>自分なりに保育とメディア環境との関わりを考えられる態度が培われ、メディアの問題を分析できる視点を持てたことについて、授業のねらいとしていたことが達成できた部分については良かったと考える。一方で、参加型の学習にもかかわらず、「参加した」と実感できない学生がいることに関して、参加意識を高められるような工夫を今後は行っていきたいと思う。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育メディア演習	2	後期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・受講動機は次の通り。①必修科目である59.7%、②資格取得に必要である58.3%、③関心のある内容である8.3%、④単位数を確保する11.1%、⑥友人が履修している1.4%、</p> <p>・幼免取得のための選択修科目である。</p> <p>・初学者の受講を想定して、教材・資料の配布を行った。</p> <p>・教材・資料の内容を理解、定着させるためには例題等による問題演習が不可欠となる科目であるため、コンピュータ操作の手順ならびに理論を解説した後、問題の演習を行う形で進めた。</p> <p>・コンピュータ操作の手順ならび理論の解説には、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、教材・資料に沿って例題に取り組むなどの演習を行った。</p> <p>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・担当部分の成績評価は、平均81点/100点であった。再試対象者は10名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も高いスコアであった。</p> <p>(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることができた</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も低いスコアであった。</p> <p>(9)職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)について学ぶことができた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・学科のDPの、知識理解(DP1)、態度(DP4)の基礎部分を担う科目として開講している。</p> <p>・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.7~3.8であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、適度な予復習がなされていることが示唆される。授業の時間内に仕上がる程度の課題を演習として課しているが、概ね丁度良い負担となっていることが推察される。・図書館等の利用はあまりなされていないが、演習とした課題や参照するよう指示した資料はweb上で入手・確認可能であった結果を反映したものと思われる。・学修の際のwebページの検索・利用は履修者の60%が行っている。
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育相談支援	2	後期	選択	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は、ほとんどが免許・資格に必修科目であるためであり、科目へのモチベーションというよりは、保育職へのモチベーションを持って受講していると考えられる。そのため、保育現場での実践を意識した授業内容としている。現場で多く出会うような事例を準備し、それについて考える時間をできるだけ多く取るようにしている。ただし、臨床心理学や対人コミュニケーション、メンタルヘルスについての基本的な知識を伝えることと並行して実施しており知識と実践のバランスに注意しながら授業の計画を立てた。また、現場で様々な事例に対応するために、個別の方法やマニュアルではなく、基本的な考え方や視点の持ち方についての理解が深まるよう留意した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された			やや達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>多くの学生が、トータル成績評価で80点を超えており、教育目標はおおむね達成されていると考えられる。また、アンケートの達成度自己評価の各項目に「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と回答している学生の割合も高く、その点からも、教育目標がおおむね達成されていると考えた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目に関するDPの項目である意欲関心に対応するアンケートの自己評価項目は、「(6)学びを深めたいと意欲を持つことができた」であるが、その項目に「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答した学生は昨年度に続き、半数を超えていた。また、DPの技能表現に対応する項目である「(7)技術を身につけることができた」、「(8)コミュニケーション力や表現力を高めることができた」にも半数以上の学生が「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答しており、学生が授業を受けた手ごたえとして感じていることと授業の目標が一致していることがうかがえる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度に続き、授業の進め方、評価基準などについて、15回の授業の中で、繰り返し伝えるようにしている。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>教育目標は、おおむね達成している。学生の自己評価も高く、授業目標や教員の意図が良く伝わっているように思う。今後も学生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
障がい児保育 I	1	後期	選択	いいえ	85

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>障がい児についての講義科目であり、障がい児について授業で学ぶことは初めての学生がほとんどであることから、基本的な知識を広く身につけることを授業の目標とした。様々な障害を持つ子供たちの特徴とその保育の特徴についての学びの入り口となるよう、講義内容や教科書の選定、参考図書の紹介などに配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成度自己評価項目に対して、ほとんどの学生が「まあそうだと思う」以上の評価をしており、ほとんどの学生が手ごたえをもって受講していた様子がうかがえる。成績評価の平均値は80.3点で、十分に目標に到達していることがうかがえる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける位置づけは、一般的な保育・幼児教育についての学びと並行して、障がい児についての知識を身につけ、演習科目である「障害児保育Ⅱ」へとつなげるものである。成績評価と学生の自己評価から多くの学生が基本的な知識を身につけることができたことと評価できることから、内容的な妥当性があると考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の中で、グループ学習と発表を取り入れ、学生の自主的な学びとプレゼンテーションのスキル向上も考慮しているが、図書館利用したと回答している学生の割合は低く、グループ内で学習量に偏りがあることがうかがわれる。それぞれの学生が自主的な学びのためのスキルを身に付けられるような工夫が必要であると感じた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>多くの学生が授業目標を達成しており、授業内容も妥当と考えられる。今後の課題としては、グループ学習の中で、学生のコミットメントに偏りがあり、十分に学習を深めたり学習スキルを身に付けていない学生がいるかもしれないことから、そのような学生の参加を促進するための工夫が必要である。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
乳児保育 I	1	後期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・資格取得の必修科目であることを踏まえ、テキストや参考文献を活用しながら伝えるべき内容を網羅するようにシラバスに従って授業を進めた。</p> <p>・これまで3歳未満児と関わった経験がない学生が多かったため、保育現場をイメージしやすいように守秘義務に配慮しながら写真や動画を活用したり、事例を説明したりすることで理解を促していった。</p> <p>・事例をもとに、子どもとのかかわり方や保護者対応などについて考えるグループワークを組み入れたり、実際に保育人形を使って着替えやおむつ交換の演習、またふれあい遊びやわらべ歌などの実技も取り入れて授業を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・全体を通しての成績は83.9(±2.2)であった。総合評価としては多くの学生がAやBの標準以上の評価であった。</p> <p>・しかし定期テストでは、5名の学生が60点以下の得点であった。その後に課したレポートでは、授業内容を踏まえた課題のポイントを押さえた記述ができており、概ね知識理解は達成されたものと思われる。(1名のみレポート未提出のために不可とした。)</p> <p>・インフルエンザの流行で欠席が目立つ時期があったが、授業態度は概ね良好で、私語はほとんどなかった。時々集中が削がれて居眠りをする学生がいたが、声掛けにより前向きに授業に臨む姿勢は感じられた。</p> <p>・着替え、おむつ替えといった演習にも積極的に参加して要領を覚えることができた。また乳幼児の発達を促す手遊びやふれあい遊び、わらべうたなどについて調べ、友だちの前で発表することもできた。</p> <p>・今回の授業の内容をテキストの箇所等で伝えていたが、ほとんど予習をしてきた様子がなかった。今後の課題として学習準備の仕方を工夫していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられており、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生は資格取得を希望しており、前向きに授業に臨んでいた。</p> <p>・「自由記述」では「分かりやすかった」「たくさん学ぶことができた」との意見があった。現場での事例を加工しながら用いて解説したことで、現場での様子がイメージされて理解を促したと思われる。</p> <p>・5名の定期試験が不可の学生がいたが、その後のレポートでは、課題内容のポイントを押さえた記述ができており、内容理解はできていると思われる。</p> <p>・以上より、内容的妥当性に問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>・これまで3歳未満児との関わりがほとんどない学生に対して、実習前に必要な知識・技術を伝えるべく、できるだけ具体的に講義や演習を行ったが、特に法令や保育指針等の内容を説明するときに、学生の学習意欲が落ちている印象があった。現場での事例をはさみながら画像等も利用した講義や遊びの演習などは高い関心を示して受講することができていたため、分かりやすい事例を組み込んだり、途中で手遊びを盛り込むなどしながら、必要な内容はもれなく学習できるようにしていく。法令や保育指針、倫理綱領等の必要性を伝えられるように工夫していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>・授業内容を理解できている学生は多く、学んだことを実習等で生かそうとしているが、少数ではあるが理解や応用が難しい学生がいる。よって興味・関心が持てるような事例の説明や遊びの演習等を盛り込んだ授業を工夫し、学生の主体的な学びと理解を促すようにしていきたい。また予習の必要性についても理解を促していく。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会的養護内容	2	後期	選択	いいえ	93

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業実施にあたっては、社会的養護の担い手である保育士に求められる基本的な知識の獲得を目指すとともに、具体的な事例を用いた個人ワークやグループディスカッションを多く取り入れ、授業での学びをできるだけ実践と関連付けて考えることができるよう工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された	やや達成された		やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価としてS-19名、A-26名、B-26名、C-21名であり、S、A評価を取得した学生が全体の約49%であった。また再試対象者は2名であった。他方、学生による評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質の評価」の全項目に対して、回答者の約99%が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。以上のことから、目標はやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の内容、方法に関する科目」に位置づけられている。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。</p> <p>DPでは、学生による授業評価の知識理解の観点、技能表現の観点での自己評価について、回答者の約99%が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。また、適宜、各自のワークシート、グループワークシート等の確認を行ったが、回を重ねることに考察に深まりがみられた。</p> <p>以上のことから、内容的妥当性は問題ないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度も授業内容の質を高めることを目的として、事例内容や事例検討方法の検討を行い、改善を図った。その結果、授業への学生参加度を示す項目において全ての回答者が「まあまあと思う」以上の解答をしており、回答者の約81%から「わりにそう思う」以上の回答を得ることができた。また、学生の授業理解度を高めるため、リアクションペーパーの活用や個別での質問対応にも心掛けた。次年度以降も、授業の質の向上に向け、教材や授業展開の方法等の改善を図ってきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。今年度も学生の授業理解を促すため、教材や個別ワーク・グループディスカッションの展開方法の見直し等に取り組んだ。今後も受講生全体の学習理解度を高めていくことができるような方策を含め、授業の質向上に向けた取り組みを行ってきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教保育	1	後期	必修	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本学のキリスト教の特色を生かした必修科目であるが、受講前はほとんどの学生が関心がないことを踏まえ、以下の3点において、キリスト教に関心のない学生でも興味をもって取り組んで行けるよう工夫した。</p> <p>①キリスト教と保育の関係性について明確にすること ②「感恩奉仕」の精神を生かした学びとして「世界の子どもたち」について調査し発表すること ③キリスト教学Ⅰで学んだ聖書の物語についてシナリオを作成し、実際に演じてみること。 ②③は学生自らが主体的に学ぶ訓練として導入し、「世界の子ども」の発表によって視野を広げ、「聖書の物語の劇」を創作することにより、監督を中心にシナリオを製作するなど、保育現場でも生かして行ける内容を工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度の自己評価①自分なりの目標を達成した(3.8)、②知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(3.9)、⑦専門分野で必要となる技術をみに付ける事ができた(3.8)、⑧コミュニケーション力や表現力を高めることができた(3.9)、などからわかるように、教育目標はやや達成されたと言える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本学のキリスト教の精神に基づき専門科目の「保育」を学んでいくという、本学のユニークな科目である。教養教育との違いが心配されたが、到達度の自己評価の中の専門分野に触れる質問に関し、平均値が3.8であり、職業倫理や行動規範を学ぶ事ができた(3.7)、職業選択の参考になった(3.7)からもわかるように、内容的に妥当であったと言える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「世界の子どもたち」の調査・発表を取り入れたこと、「聖書の劇」を取り入れたことは、学生が参加する機会が作られていた(4.0)からもわかるように、講義と演習とのバランスは妥当であったと考えられる。発表の準備期間多く確保したため、今年度は発表の振り返りまでできたことは良い成果であった。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本学独自の科目であり、他大学の保育科との違いを明確に出す必要がある。毎回の学びがキリスト教つまり本学の「感恩奉仕」にいかにつながっているかを意識しながら展開できるように、科目に関心のない学生に対しても関心を引き起こすことができるような工夫を行なっていきたい。 「世界の子どもたち」の学びは、学生の関心が集まるテーマである。キリスト教保育は日常生活では触れることのない広い世界に目をむけていく視点を含んでいるため、この点を活かしつつ、今後も学生たちの関心を汲み取りつつ展開していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども音楽療育概論	1	後期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①音楽を通して、心身に障がいのある子どもたちに発達の援助を行うことができる「こども音楽療育士」資格認定の基礎となる科目である。本年度の26名の受講生は全員が資格習得に必要なであると自覚し33.3%の学生が関心のある内容であることを受講動機にあげていた。</p> <p>②家族や身近な人の中に障がいのある人がいて、日々障害について考えているという学生がいる一方で、障がいへの認識が薄い学生もいて、導入時点でかなりの温度差があるので、実際の障がい者への末成による音楽的アプローチの映像を見せて学習意欲を高めさせたり、療育的な楽器を披露したり手に取らせてその機能を実感させたりして自主的な学習姿勢を促した。末成指定の療育的な図書を毎回紹介させる課題を設け、共に学ぶ姿勢を大切にしました。障がいへの考え方、近隣の障害児・者施設に関心を持てるように、それらの役割や情報を十分に伝えるように努めた。2020年の東京オリンピックパラリンピックに向けて日本全体がバリアフリーに取り組み、施設建設や運営に生かされていく中で、保育士として、音楽を通して障がいのある子とかわることを広い視野に立って実現できるように教授した。親への支援ということへの重要性と困難さについても末成の実体験を十分に生かしながら話し合いを持たせながら教授した。</p> <p>③努めて学生の意見を聞きレポートを添削して助言を伝えることで、2年生前期の「こども音楽療育演習」、後期の「こども音楽療育実習」への意欲を喚起できたと考える。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①学習到達度の自己評価が「知識の確認・修正・新たな獲得」の項目は4.3、「コミュニケーション力や表現力の向上」「職業選択の参考」「自分なりの目標を達成した」「事象理解の力が付いた」「学びを深めたいという意欲がもてた」「技術を身につけた」などの項目も4.2という値が出て、学生自身が目標を達成したという手ごたえを持ったと考えられる。</p> <p>②授業の中ほどの回でシラバスにはなかったが個人面談をしたことで、深い関心を持ち授業に参加する学生の存在も見えてきて、その積極的な取り組みが他の学生にも良い刺激になり授業の好循環を生んでいた。個人面談は時間的にはとても短かったのだが、学生と教員の信頼関係を築くのにも役立ったという手ごたえを感じた。</p> <p>③ノートを使って毎回の授業を記録することで、プリントのファイリングでは得られない知識の定着がのぞめることを前年度の反省から詳しく注意喚起したためか、かなりの数の学生が専用ノートを作り授業に臨んだ。これは2年生の「こども音楽療育演習」「こども音楽療育実習」と1年半にわたる短大としては最長の継続的な学びであるので、見通しを持った学修につながると考える。</p> <p>④出版される時点で何らかの検証が行われる活字の信頼性、ネット情報の危うさについて様々な場面で今後も十分に伝えていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講に際してシラバスを参考にした学生が半数に上ったが、すでに受験の時の面接で音楽療育に関心があり、この学校で学んでみたいという学生が何人もいたため、担当者としては身の引き締まる思いで臨んでいる。しかし、授業評価の結果を見ると、あらかじめ授業の計画を立て、授業の開始に備えた学生は3分の1にいたので、シラバスの活用を学生にもっと徹底する必要性を感じた。授業の後の30分の復習は学習を深める大きな力になるので今後はさらにこの点を学生に徹底して伝えていきたい。</p> <p>②ネット上の情報は日常的に手軽に見るのだが、そのことだけで安易に障害について理解したように考えてしまわないことを指導した。図書館を利用し、信頼できる書籍の活用を通して、いろいろな角度から問題点や方法を自ら調べる姿勢を養ってほしい。</p> <p>③音楽は自分にとって心地よく大切なものであると感じているが、障がいを結び付けて考えることがほとんどなかった学生が多く、この講義を通して毎日の生活の見慣れた場面での音楽のもつ力というものについて改めて考え、それが障がいを持つ子どもには、他者とのつながりのきっかけになるということが理解できたことが学びの成果だったと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価の10項目のすべてが4、1以上の値で、そのうち6項目が4、2以上の値を示していたので、概ね学生が理解できる正当な授業が展開できたのではないかと考える。私の専門分野でもある聴覚障がいへ関心が深かったのは、授業者である私自身の取り組みの姿勢にも関係していると思うと、今後も私自身が研究を深めていく必要を強く感じた。日本音楽教育学会での研究発表は「聴覚障害児の音あそび」に関することを考えていて「聞こえない」ということに関しての一般人への理解・啓発についての文章をまとめ、そうした成果を学生にも伝えていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>昨今の学生気質は人の前で実演することへの恥ずかしさや、失敗したくないという気持ちからか、消極的な取り組みがとりあげられることも多いが、本講義ではそのことが払しょくされて講義中もよく質問が出て、お互いに意見を聴き合うこともできて好ましい雰囲気をつくられたと考える。日常の保育の中で、障がいのある子ども、そうでない子ども、音楽の力を使って人間関係を築く場面を設定できる「子ども音楽療育」という分野を極めるという目標に向かって、真摯に取り組み、互いの意見をよく認め合い、講義の内容を理解しようと努めていた。障がいの多様性を知り一人ひとりに適切なアセスメントを行い、保育士としてどの子どもたちも園生活が過ごしやすいように援助を行うことが、次につながる「子ども音楽療育演習」「子ども音楽療育実習」への理論構築になる。子ども音楽療育士を目指す学生たちは、障がいの厳しさと同時に、音楽の持つ人間への様々な影響力や、五感の中の「聴く力」というものに理解を深めることができたと考える。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども音楽療育実習	2	後期	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本年度で2年目の科目であるが、1年後期の「こども音楽療育概論」2年前期の「こども音楽療育実習」で学内で学修した論理、実技演習を土台に、より実践的な知識や技能を習得するという目的が明確だったために、学生の準備性は極めて高く、意欲的であった。2か所の実習先「小倉北支援学校」及び「沢見あやめの森保育所」のいずれにも学生が施設の先生方と綿密な密な打ち合わせをして、意義のある実習を展開することができた。初回に「音楽のもつ多様な力がこどもの発達をどのようにつまかすか」について活発な意見交換をしてお互いの学びを理解し合い、これからの実践の方向性を共有したことで取り組みへの意欲が向上した。実習後には振り返りを行う中で就職したのちも実践できる数々のプログラムを吸収して個人面談の中でも学生各々が自分の学びの深まりを実感していることが感じられた。受講生の団結力も評価でき、協働作業におけるコミュニケーションの重要性を感じ合っていた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①トータルの成績が90点以上が34%で、ほぼ全員が大変意欲的に取り組み、実習後の報告会の振り返り、個人面談などで公正に評価して手ごたえのある成果だったと考える。しかし学生の②知識の確認、修正、新たな獲得の項目がかなりそう思う、わりにそう思うが75%と昨年度より10ポイントも上がった一方で、⑦専門分野の技術を身につけたか、⑧コミュニケーション力や表現力を身につけたか、の項目で一人の学生が少しそうでないと思うと回答していることを重く受け止めた。彼女の悩みを察知して早い時期に解決へ導きたかった。今年度は見学実習とクリスマス会への参加と2回の実習を企画した保育所では、大変良く工夫された企画が実施され、配慮の必要な2名の幼児も最後には会に参加する姿が見られた。よい経験を積んでと、これからの実社会で役立てるように指導した。②専門分野における的確な判断力の項目で3.9という数値であったが、他の項目はいずれも4.0を上回っていた。これから就職する現場への、真摯な姿勢もうかがえた。グループ活動の不具合や協働作業の滞りを述べる学生は個人面談においても現れず、お互いの欠点を補いながらグループ活動を進めたことが分かる。学生たちの1年半にわたるお互いの信頼関係でき、自由記述にもあるように、「知識も仲間の団結力もできて」1年半にわたる継続した学びの成果を実感した。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>1年後期の「こども音楽療育概論」、2年前期の「こども音楽療育演習」そして本科目である2年後期の「こども音楽療育実習」を終え、全員が「こども音楽療育士」の認定を受けることができた。シラバスに示した①対象児の理解を深め、②実習を通して、療育的音楽活動の効果を実感し、③実際の療育的音楽活動を実施する力を持ち、自身の療育的音楽活動の振り返りをして、より対象児に合った療育の在り方を考察できるという学生の達成目標をめざし、学生自身による授業の質の評価で、5項目すべてで、わりにそう思う、かなりそう思うが83%で、前年度の65%を上回った。内容的には妥当であったと考える。受講動機の、1資格習得に必要であり、2関心がある内容である、ということを満たしたと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>療育的音楽活動の計画を立て実践することは概ね満足のいくものだったが、対象児の変化をとらえ、実習記録に改善点を記載していくには授業内で時間を取ることができず、家庭学習にゆだねる面が大きかったので毎回の実習記録の点検が十分とはいえなかった点がある。次の実践計画が机上の学修に留めるに終わってしまった。充実した実習報告会を足掛かりに、実践を繰り返す毎に技術が磨かれていくことを実感できることが意欲につながるので、卒業後も療育的音楽活動についてのアドバイスができるような関係を大切に、学生を見守っていききたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は関連するすべての科目内容の統合であると考えている。「こども音楽療育概論」「こども音楽療育演習」「保育内容・表現」「障がい児保育Ⅰ・Ⅱ」「音楽の基礎」「こどものうたあそび」「こどもの歌と伴奏法Ⅰ・Ⅱ」いずれの教科で学んだことをも余すところなく役立てて、療育的音楽活動の支えにすることが肝要である。音楽への鋭い感性とこども理解、障がい理解、音楽的技術の向上をこれからも目指して「こども音楽療育士」として音楽の力を療育に活かしていける学生を輩出していきたい。学生一人ひとりに助言したり、技術的指導をしたり、面談をとおして折々の問題点を共有していったので、志のある学生にきめ細やかな指導ができたと考えている。選択科目であることで、学生の意識も高く、充実した学びを積み重ねることができたことは、教員としても大変良かったと考えてる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
在宅保育	2	後期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、全国保育サービス協会による認定ベビーシッター資格を取得するための必修科目です。そのため、授業評価における受講動機は、「必修科目である」または「資格取得に必要である」が大半を占めていますが、その他にも「関心のある内容である」「単位数を確保する」と回答した受講生も複数名います。認定ベビーシッター資格は、保育士資格取得が絶対条件でありそのうえで本科目が必修科目となっています。しかし、今回、保育士資格を取得しない学生さんも受講しました。ベビーシッター資格を取らなくても、将来役に立つからと言ってくれたことは、とても嬉しく思いました。そのため、できる限り、訪問型保育だけでなく、保育所保育にも自分自身の育児にも活用できるような内容を授業の中に組み込むことを心がけました。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の再試験対象者はいませんでした。本科目の大半が個別保育や家庭訪問に際し必要な技術習得のための演習で授業内容を組み立てました。ゆえに、DP5が中心となります。しかしながら、授業評価アンケートによると、「2. 到達度自己評価」は全項目平均値が4.4であり、受講生達は、総括的に本科目を理解し修得しようとしていたことが分かります。科目担当者としての成績評価と受講生の自己評価とが合致していることから本科目の評価は妥当であったと思っています。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>訪問型保育について教授する本科目は、保育士養成課程とは少し異なり、個別保育という特殊な内容になります。しかし、受講生達の学びを見た時、既習の科目を踏まえた学習と位置付けており、科目担当者が考えている位置づけと合致していると評価しています。この位置づけは、DP,CP,カリキュラムマップに反映されており、内容的妥当性があると思っています。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度も2名体制で授業を展開しました。特に演習は、クラスを半分に分け、人数を少なくすることで手厚く指導できるようにしています。また、昨年度同様、個別保育のあそびの演習は、現場経験豊かな教員に担当していただき、産後ケアは医学的裏付けや妊産婦さん、褥婦さん、新生児が対象となるため、私が担当しました。それぞれの現場経験を生かした演習をし、受講生達に実例も交えながら授業が展開できたと思っています。また、演習にあたっては、教育支援職員さんのご協力も得ることができ、十分に演習時間が確保できたことも今年度良かったこととしてあげられます。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>科目担当者が考えている以上の学びを得ていることを、最終レポートで感じました。次年度も、ただ単に認定資格を取るため、というよりも、実際に役に立つ科目として多くの学生さん達に受講していただけるような授業を展開していきたいと思っています。そのためには、実例を踏まえた内容をもっと盛り込み、また、演習時間を充分確保できるよう次年度も教育支援職員さんのご協力を得たいと思っております。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどものうたあそび	1	後期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①保育の毎日の中で、歌やうたあそび、音楽がない日は一日も存在しないと言っていいくらい、こどもの日常とうたは深い関係にある。幼児の成長に重要な意味を持っているうたあそびは、信頼できる身近な人を懸命に見たり、声を聴こうと感覚器官を働かせる。そして手足を動かし、声を出して、その時に表現できる方法で反応し、積極的に模倣しようとする。歌はこどもの感性を刺激し、表現を促し、他者と感情を共有する経験を作る。保育所や幼稚園では季節や行事などの幼児歌曲を声を合わせて歌い楽しむ。うたあそびはだれかと一緒にグループを作って遊ぶなどして人とのかかわりを促す。かかわりをもつ中で楽しみを共有し、役割を担い、社会性を養う。そうした場面で、保育者を目指す学生には、こどもたちにその時々によさわしい歌唱教材を選ぶ確かな目を養ってほしい。それと同時に、豊富なレパートリーを持ちそのレパートリーの中から歌の魅力を子どもにしっかりと伝えられる歌う力を養うことを重点に教授した。</p> <p>②受講動機は必修科目である87.1%、資格習得に必要な45.7%と「うたあそび」に特に関心が高いという積極な動機ではない学生が多かったが、毎回の授業のテーマに沿ったたくさんのこどものうたを、実に積極的に練習し、発表し合い、聴き合い、授業の雰囲気はたいへん活気のあるものになった。シラバスには毎回の中心的な課題曲を提示し、既習曲の復習をすることを推奨したが、30分以上の準備をしたという回答が51%、30分以上の復習をしたという回答が48パーセントで、自己練習の徹底が不十分であった。毎回授業で取り上げた歌を自分なりに身につけるために練習するは不可欠なことなので、練習カードを導入することを次年度への課題と考えた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①到達度自己評価見ると、特に「知識の確認・修正」の項目で学生が「かなりそう思う」、「わりにそう思う」を合わせて7割だったのは、知らないうたを知ることができたり、お互いを認め合えるよい雰囲気の中で動作を加えて歌ったりすることができて、恥ずかしいとか未熟であるというマイナス思考を払しょくすることができたからと考えられる。</p> <p>②それは授業評価の(4)「話し合う、発表するなどの学生が参加する機会がつけられていた」という項目でそうはおもわないと答えた学生が0人であったことから裏付けられる。</p> <p>③一人ひとりで歌う試験のほかに、友達と一緒に、友達の前で一人で、という場面も多く設定したので学生どうしで助言し合うことも行われて、評価基準に不公平感が出てはいけなかったと考えていたが、「評価基準は明らかであったかの」項目は全員が「まあそう思う」「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答していたので、授業の進め方は適正であったと考える。</p> <p>④日本のわらべうたや、伝統的なあそびうたについては歌ったり遊びを表現したりするだけでなく、その歌の背景や歴史的な事象を検証する課題を課したが、それでも図書館の利用は極めて少数で、手近なスマホに頼っている実態が浮かび上がった。ネット上は必ずしも正しい内容が記載されているわけではないことを伝える指導の徹底が今後も課題である。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>「うたあそび」は遊びの要素を内包した、歌う活動の総称と考えると、幼児歌曲は、こどもにとって「聴いたり歌ったりすること」そのものが楽しいものである。り遊びの要素を含んでいる。そして「あそびうた」とは、身体の動きとルールを伴う歌であり、まさに遊びと言葉と音楽とを切り離すことができない一体化したものである。つまり幼児歌曲とあそびうたはどちらもあそびの要素を内包した「うたあそび」なのである。この視点から見ると、課題曲の選曲、授業の進め方の両面において本講座はDP、CPの位置づけから検証し、妥当であったと考えられる。自由記述の学習量の評価で、授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由として「いろいろたったから」という記述があり、授業中にたくさん歌って十分であるという認識が感じられたが、教授する側は関連する歌をもっと知ってほしいと考えるのでここにまだ伝えきれていない問題点がある。視野を広げて新しい歌に取り組むという啓発をしていかなければいけない。このことに関して今後の課題であるが、図書館には楽譜が大変不足している。というのも、図書観点から楽譜は消耗品で図書館で購入できないということなので、少し合点がいかない。曲の説明のついているものなら書籍として良いとのことだが、歌の本や器楽合奏、その他の楽譜を学生が手にすることができるようにするにはいつも私の個人のものを使用している。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価では、「評価基準は明らかであった」を「わりにそう思う」「かなりそう思う」を合わせると62%になり、発表による評価というややもすると基準があいまいになりがちな項目でこうした結果が得られたのはよかったと考える。試験前に声量・音程・歌詞の理解・発音、曲への姿勢など評価の基準を明確に示したので、自分の頑張る部分が理解できたのだと思う。表現にまだ十分な自信が持てない学生は緊張して力が発揮できないが、そうした学生への励ましやアドバイスの言葉に細心の配慮を施した。学生がこれからの実習や他の授業での取り組みに対して、保育者として子どもたちの前で明るく表現できるようにさらに支援をしていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>うたあそびの持つ楽しさの要素やこどもの発達とのかかわり、そしてさらに楽しい活動へと発展させる方法を目指して授業を展開した。しかし活動の展開例書式で示す課題に取り組む時間を十分には取ることができず、こどもの興味・関心・心身の発達に応じてた視覚支援教材を作って表現活動を考えるにとどまった。お互いの評価では遠慮がちな言葉が多くなることもあり、自分ならこうするというもう一歩踏み込んだ改善案もたくさん出てほしいと感じた。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどものためのピアノⅡ	1	後期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。前学期に開講の「こどものためのピアノⅠ」から継続して履修している学生が大半のため、学生が夏季休暇中にも予習復習ができるように配慮した。また、前学期と同様に、個人レッスンで進めていく形態をとっており、個々のレベルに応じてピアノの技術を習得していく科目であるが、前回の改善計画として掲げたローテーションの体制をとって行った。グループで偏りがでないよう、入学前に学生のこれまでの音楽経験や前期で履修した「こどものためのピアノⅠ」での課題の進捗状況をもとに、個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	どちらともいえない					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は68.6(S-2人、A-24人、B-18人、C-7人、D-26人)点であった。本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験の異なりや、前期で履修した「こどものためのピアノⅠ」において習得した課題に応じて、学生によって本科目での目標の達成にばらつきが生じている。そのため、「到達度自己評価」の全般的評価の平均値は3.7であるが、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.1とあり、保育者として必要な技術を身につけるために個々のペースで取り組んでいると考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。DPIに関しても、「到達度自己評価」の「技能表現」において、ほとんどの学生が「わりにそうだと思う」以上を回答している。また、自由記述の意見において「授業の課題以外に具体的に取り組んだ練習」の欄に「実習に向けて課題にない歌も練習した」とある等、後期では実習があったことで、意欲的に授業で習得したものを活かして取り組む様子がみられた。以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今期導入したローテーションにより、学生が発言しやすい場を設け、学生の進捗を把握し各担当教員との連携を図れるよう心掛けた。 これにより、前学期の授業評価アンケートと比べ「授業の質の評価」の(4)(5)において「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」への回答率の減少がみられた。 しかし、前回と同様に、教員間で進め方に違いがあるという意見もみられた。学生のこれまでのピアノの経験の有無や、進み方から演奏の目標レベルに個人差が出てしまう科目であるが、次年度に向けて教員間の連携、情報共有の仕方を工夫して改善していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況や、自己評価の技能・表現における結果から、概ね授業の目標は達成できたと考える。上記の課題から、次年度ではより学生に即した指導ができるよう、教員間で連携しながら授業を展開できるよう心がけていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどものうたと伴奏法Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	68

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。前学期と同様に、個人レッスンで進めていく形態をとっており、個々のレベルに応じてピアノの技術を習得していく科目であるが、前回の改善計画として掲げたローテーションの体制をとって行った。グループで偏りがでないよう、入学前に学生のこれまでの音楽経験や1年次開講「こどものためのピアノⅠⅡ」、2年次前期開講「こどもの歌と伴奏法Ⅰ」での課題の進捗状況をもとに、個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。就職試験でピアノの実技が控えている学生には必要に応じて授業内でも対応し、課題内容については学生が保育現場で活用できるよう、学生の進捗に合わせて簡易伴奏にアレンジする方法を教授した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された					やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>最終的な成績の平均値は75.7点であった。(S-7人、A-22人、B-28人、C-11人、D-0人)本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。授業評価では、「全般的評価」が平均4.0となっており、また「到達度自己評価」における「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」についても平均4.1とあることから、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目であり、「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許(選択)、保育士資格(選択)の科目でもある。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。DPに関しては、「到達度自己評価」の「技能表現」において、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答しており、就職試験や就職に向けて準備をしていく中で、より真剣に保育者として求められるピアノの力を身につけるために意欲的に取り組む様子がみられた。以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>前学期の改善点から、今回はローテーションという体制をとり、学生が発言しやすい場を設け、学生の進捗を把握し各担当教員との連携を図れるよう心掛けた。 これにより、前学期の授業評価アンケートと比べ「授業の質の評価」の(4)(5)において「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」への回答が0となった。 また、学生のこれまでのピアノの経験の有無から、進み方や達成目標に個人差が出てしまう科目であるため、学生の進捗に応じて課題内容を検討し、保育現場で対応していく中で必要な力を身につけられるよう教員間での連携、情報共有をはかりながら指導していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。次年度ではより学生に即した指導ができるよう、教員間で連携しながら授業を展開できるように心がけていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
器楽アンサンブル	2	後期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は選択必修科目で免許・資格に必要な単位の一つであるため、授業内容に関心をもっている学生が半数以上受講している。受講者数が少ない分、全員が全ての楽器の扱い方や奏法を学び演奏できるよう授業計画をたてた。テーマを提示し奏法を教授した後は、教員は極力見守り、学生自身が楽曲・楽器の選択、アンサンブルにおいての各パートの役割を考えて割りあげていけるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均84点である。(最高93点、最低70点、S-2人、A-4人、B-1人、C-0人、D-0人)である。ほとんどの学生が理想的なレベル、標準的なレベルに達している。学生による授業評価においては、「到達度自己評価」では「全般的評価」「技能表現」どちらも平均値は4.5であることから、学生自身も意欲的に取り組み目標に近づけたと感じていると考えられる。しかしアンサンブルにおいて個人練習が事前準備として大切になる中、「学習量の評価」において、予習復習を全くしていない回答がみられ、次年度は課題内容の検討や学生が協力して音楽表現を豊かに深めていけるよう働きかけたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、保育士資格、こども音楽療育士の取得に必要な選択科目である。「受講動機」では「関心のある内容である」が半数以上を占めており、学生の受講意欲が高いとみられる。DPIに関しても、「到達度自己評価」における「技能表現」において半数以上が「かなりそうだと思う」と回答している。少人数ではあったが、他者と協調していきながら学生主体でリズムや楽器への理解を課題毎に深められており、楽曲や個人の技術力に合わせてリズムをアレンジしたり奏法を工夫していくなど、保育の現場で活用できる力を習得している様子がみられた。</p> <p>以上から、内容的妥当性に問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生主体となって考え、話し合い、活動していき、テーマ毎に発表の機会を設けることで、全ての学生が能動的に受講できるよう心掛けた。しかし、中には受け身の学生もおり、一部の学生に負担が多くあった様子もみられたため、学生の状況を把握しながらどの学生も自発的に参加できるように指導改善していきたい。また、「学習量の評価」では、予習復習を全くしていない回答もあったことから、次年度に向けて学生に復習する内容の提示を工夫してより学習内容を深めていけるようしていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の到達度自己評価から、概ね授業の目標は達成されたと考える。上記の課題を意識しながら、次年度の授業を展開できるよう心がけていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	谷口 幹也

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの造形あそび	1	後期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業では、学生の主体的な学びを重視して実施した。本授業が必修科目であることから、保育士、幼稚園教諭の免許取得に必修であることを前提とし、保育における造形遊びにおいて、幼稚園教育要領、保育所保育指針が示す理念と内容を解説した上で、「主体的な学び」、「遊びは学習である」ことを、具体的な表現活動をグループ学習を中心に実施できるように授業準備を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された					達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講者のDPを確認し、全体をととして「達成された」とした。 技能表現(DP5)に関しても、受講者の自己評価から「達成された」とした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 DC, CP, カリキュラムから本科目については、他木の内容的妥当性は、「ほぼ達成されている」と判断する。その理由は、受講者の到達度自己評価が全項目の平均値が中央値に位置しているからである。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の意見を拝見し、本科目に関して授業の狙いを十分に理解できていない受講者がいることを把握することができた。 オリエンテーションの内容の工夫、また各授業の際の学修目標の提示等を行い、授業改善を行う。 保育士、幼稚園教諭の免許取得に必修であることを前提とし、幼稚園教育要領、保育所保育指針が示す理念と内容を図り、造形の領域から、「主体的な学び」、「環境を通じた教育」の実現する教材開発、指導法の学修を、グループ学習を通して行っていきたいと考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本授業が保育士、幼稚園教諭の免許取得に必修であることを前提とし、幼児教育、保育における造形の重要性と必要となる力量を明示するようにしたい。そして各授業での学修目標の提示等を工夫し、からの授業実施と授業改善に努めたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	村上 里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの生活とあそび	2	後期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①短期大学部最後の年度それも後期の講義であり、次年度には保育現場で有資格者として活躍することを念頭に、実際の現場を意識した授業準備をした。平成30年度(2018年度)に改訂された幼稚園教育要領及び保育所保育指針、認定こども園保育指針にも強調されている「保幼小の接続」の重要性と共に「乳幼児教育」と「小学校以降の教育」の違いを理解し、保育に携われるようことと選定したテキストに沿って、乳幼児期の子どもの学びを伝えていった。②実際に保育現場で行われている特に室内遊びの一部を中心に取り組む時間を設けた。そこでは、子ども理解を前提に、子どもの気持ちに寄り添える保育者の存在の大切さを実感できたのではないと思う。③今回の受講動機を分析すると、「資格取得に必要である」が60.0%と、過半数以上の学生が「資格取得」に大切な単位であることを認識していることがうかがえた。④学生の自己評価の平均点が4.1であり、まだまだ「自ら学ぶこと」「学ぶことの楽しさ」や「学びの重要性」が感じられるような授業の工夫が必要であると省察している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①テキストである「育ちと学びをつなげる幼小連携」に述べられている実践を3事例選択して、そこでの子どもの学びと保育者としての役割について考え、「子どもの育ちと学びを考える」テーマでレポートするようにした。テーマに視点を当て、研究的思考と考察がかなりできてきている学生と、うまく考えが表現できていない学生とに分かれていた。②近年保育現場でも、「自分で考える」「考えたことを表現する」ことが保育者に求められているが、それが意識できるような授業が出来ていなかったのではないかと反省している。来年度はより工夫をしていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①「自分なりの目標を達成した」項目では、「かなりそう思う」が30%、「わりにそう思う」が44%と併せて74%が自分なりの目標を達成した感じていることは、授業をする側にとっても喜ばしいことである。②昨年度の藩士から、後期授業のオリエンテーションで授業内容の説明と併せて、学生自身が「受講動機」や「学習到達目標」などを意識できる機会を設けたことが、より具体的に学ぼうとする意欲につながったのではないと思われる。引き続き、次年度にも成果をつなげたい。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>自宅学習量や機会が少ないことが課題である。保育現場に関する新聞やニュースなどの事例を考察したり、図書館で調べたりする機会を作りたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>個々の学生が「専門領域を学ぶ」「プロの保育者として歩みたい」と更に学ぶ意欲に刺激が与えられ、一人ひとりの学生の自己学習量が増えることを願い、学習環境作りに一層の努力をしたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの文学と物語	2	後期	選択	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育の専門科目をベースに踏まえて、子どもの成長に適った絵本の紹介説明、様々な児童文学における登場人物の意味を解明し、子どもの心がどの様な点で育まれていくのかなど、事例を挙げながら、また、実際の本も掲げながら講義することに工夫をこらした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>当初は達成度が70%ぐらいであったが、終盤あたりで一気に85%に伸びたことは画期的事項である。おそらく実習を通して、この科目の内容が自身の問題点とオーバーラップしたと思われる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容的妥当性は良かったと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>改善策としては、授業の進め方として、討論形式の回数を増やして、学生のやる気のあるアイデア溢れた意見を交換するほうがもっと今以上に活性化下のでは、と思われる。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>総括的には、最終講義までには、何とか全ての学生が、まずまず達成できていると思われる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育総合表現	2	後期	選択	いいえ	95

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育科2年生全員による「こどものためのミュージカル」を黒崎ひびしんホールで上演することを最終ゴールとし、</p> <p>①学生が主体的に演習できるよう、環境づくりを整えた。</p> <p>②選択必修であり、保育士資格を取得予定の多くの学生が受講するため、クラスの垣根を超えて、学年全員が役割を全うできるよう、学年全体でひとつの作品に取り組む試みをおこなった。</p> <p>③教員が主導するのではなく、学生の中に監督、助監督を置き、学生が中心で進行できるよう、援助した。</p> <p>④担当教員5名間のコミュニケーションを重視し、それぞれの専門分野を担当しつつも、相互の連絡を密にとった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度の自己評価①自分なりの目標を達成した(4.1)、②知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(4.1)、からもわかるように、全体をとおして、教育目標はやや達成されたと言える。また、⑦専門分野で必要となる技術をみに付ける事ができた(4.1)、⑧コミュニケーション力や表現力を高めることができた(4.1)、からわかるように、技能表現においても、教育目標はやや達成されたと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学科の集大成としての表現活動という位置づけのため、音楽、身体、造形それぞれを統合した表現を体得できることを目標としていることから、通年として、チームワーク力やコミュニケーション力を養うために、自らの資質を知り、表現の媒体を選択できるよう配慮した。みずからの資質を共同作業において、生かして行くことができたことから、内容的には妥当と考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価の結果(平均4.0)からみて、おおむね進め方については、評価されていると言えるが、担当の部署ごとに意識のばらつきがみられた。今後は、監督への負担が過剰にならないよう、また、部署ごとのリーダーシップを円滑に進めることができるよう、教員のよりきめ細やかな関わりが必要であると考えられる。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>後期に週2コマ集中型の授業となったため、短期間の中で2グループにわかれ、集中して作品を創る活動を行なった。黒崎ひびしんホールという会場を見学し、会場の形態にあわせた形での作品づくりが求められた。学年をランダムに2グループに分けたことは、話したこともない学生との出会いやチームワークが生まれ、結果としては大変よいコミュニケーションを図ることができた。2グループがそれぞれの作品を仕上げる中で、お互いのグループを意識しながら行なったことも共に向上心を失うことなく進められたのでよい点であった。 今年度は造形担当の教員、保育の専門の教員、教育支援職員の3名が新たに加わり、全体で6名の教職員が関わることとなり、昨年までより手厚く学生に関わることができた。来年度からは会場が学内となるため、新たな試みが必要となる。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	末嵩 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学科専任教員がゼミ活動として担当する科目で、今年度から責任担当者となった。別科目で「初年次セミナー」が始まったこともあり、子ども理解や保育技術の向上に特化した形で内容を新たに盛り込み授業計画を立てた。また、昨年度まで各ゼミ担当者の裁量で行われていた内容も、できるだけ共通の活動を行えるようにし、ゼミ毎の活動内容のばらつきが少なくなるよう配慮した。特に、近隣園での「遊び体験実習」と「おはなし発表会」は新たに盛り込んだ内容である。それぞれの活動に準備から振り返り学習までを、各ゼミ担当者が共通に行えるよう事前に通知し、内容の共有化を図った。</p> <p>学生は少人数のグループで、各自の役割分担と協力する体制が取れるよう指導を行ってきた。</p> <p>評価に関してもゼミ毎の公平性を保つため、ゼミを持たない学科長にレポートの採点を依頼するなどの配慮を行った。</p> <p>卒業必修科目であるため、学生の受講動機は明確である。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>平均点は94.1、年間を通して学生の出席率も良く、ゼミにおける役割意識を持って授業に臨んだと考えられる。前期の「遊び体験」では、特に振り返り学習や事後レポートのなかで子ども理解を深められた手応えを感じた学生が多くおり、保育職を目指す学生としての態度は十分に養成し得たと考えられる。</p> <p>また、後期では「おはなし発表会」の準備と実施を通して、人前で表現することの難しさを学び、また影絵など新しい表現の方法を学生が身につけられたためか、「技術を身につけることが出来た」「表現力を高めることが出来た」が4.1、4.4と高い結果を得ることが出来た。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門教育科目」の「総合演習」に位置付けている。8名という少人数の単位で、仲間意識を高めながら自発的に企画運営を行う内容であり、また保育者としての専門性も求められるため、内容は妥当であると考えられる。またDPIに関しても、保育者として必要な態度を形成することが求められ、自分たちで考えた内容を時準備し実行するなど、DPIについても妥当であると考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本年度は、担当者変更を行い、昨年度から大きく内容を変更した。前述したが、保育に関する理解や表現技術を向上させる内容に特化し、学生同士で協力し合ったり、意見を出し合えるように工夫を行った。 その結果、昨年度よりも学生の達成感や自己評価の点数が向上している。 学生からの自由意見は特に得られなかった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>授業の目標は十分達成できたと考える。 次年度に向けた課題として、学生の表現技術の向上と、認定絵本士講座に関わる授業の設定があり、特に「おはなし」の表現技術が向上するような授業を継続していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機は保育科必修であるために、いかにグループが生き生きと活動でき、「保育者になろう」という意欲を高めることができるかに心を配った。機械的な分け方により偶然同じゼミになったとはいえ、各々が自分の意見を持ち保育に生かせる手立てを共有し合い良好なコミュニケーションを取り合えるように雰囲気づくりに配慮した。</p> <p>②授業の初めに保育に生かせる自分の特技、好きなこと、これから身に着けたいことなどを自由に発表し合い、お互いを知る場を設けた。これにより音楽が好き、絵を描くことが好き、裁縫的なことが好きなど各々の特技を披露し合い、後期の目標である「学外の市民センターでの発表」の形式にある程度の目安をつけることができた。</p> <p>③1年を通じての科目であるために、早い時期に年間の計画を詳しく示し、各々の計画を立てさせて、「絵本100冊」「幅広い音楽に関心を持つ」「多くの実演を見る」など、具体的な課題を持たせた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>あそび体験レポート 10点満点、おはなし発表会事後レポート 10点満点、企画発表点など 20点満点、その他ゼミでの企画への貢献度60点満点で、6人中4人が秀判定になった。優判定の2名は、まじめに取り組んだものの、アンケート結果に出ている、学習量の評価の「30分以上の準備・復習」をしなかった2名に当たっているのではないかと考えられる。発表のためには練習や準備が必要で、それを怠ると結果としてうまくいったとしても自己達成感が高まるとは言えないので、個人面談でもそのような反省が学生から聞かれた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>年間授業計画は学科で立てられていて、内容的には全教員の共通理解に基づいているが、担当教員が2年間受け持つことができないので、本格的な保育論文や将来に役立つ保育の研究をすることがかなわないので、発表以外の学修をする時間を設けられるとより充実すると考える。到達度自己評価で「知識の確認、修正」の項目で「かなりそう思う」が6名中1名だったことがそれを表していると考え。学生の主体性によって、新入生研修やお話し発表会を進めるが、方法や手順を示すこともまだ必要だと考えられる段階でもあった。「専門分野で必要な技術を身につける」で半数しか「わりにそう思う」「かなりそう思う」が答えなかったのが今後の課題もみえている。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習量の評価で「授業の課題以外に取り組んだこと」が「パネルシアターの製作」と「発表のための練習」をあげていて、その発表の練習の中に人の前で発表する際の声の出し方、日本語の発音の口形と息の使い方、言葉の習得途上の子どもや聞こえの厳しい子に少しでも伝わりやすくするための聞き分けにくい子音についての発音の際の注意など、私の専門的な分野のことを教授したかったが、そこまでの時間的余裕を作ることができなかった。「音楽」をお話の中に取り入れる手法は言葉の発音の先にあることなので、音楽的効果に重きを置きすぎてそれがが苦手な学生は少し戸惑ったと思う。私の反省する点である。発音に関する図書を図書館の未成の指定図書から読むようにという指導を徹底させなければいけなかった。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>子どもや保育への理解を体験を通して深め、保育士としての実践力を身につける目的を持った本科目であるが、前期の人間関係を深める活動と子どもとの遊び触れ合い体験はまだ緊張感が取れない学生が多く、「コミュニケーション力を高めることができた」の項目で「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答した者が半数にとどまった。ここではもう少し高い値を得る必要があると考えた。後期は「お話し発表会」に重点がおかれ、外部講師の有益な講義があったにもかかわらず、科目専用のノートを作ったり、毎回の準備の記録を自主的に記していくことがきわめて少なかったので申し伝えの不十分さを次年度に生かしたい。プリントに書き込むだけでは振り返りの時に紛失することも多、2年次のゼミ活動につなげることを念頭に指導していく必要性を感じた。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科の必修科目である。一年を通して、他者と協働する力や短大生としての基礎的能力を高められるように授業を展開している。テーマごとに目的を明確に伝え、昨年度までの資料を有効に活用して学生が「何をすればよいのか」理解しやすいように配慮した。教員は極力様子を見守り、ゼミ長を中心に学生自身が考え行動できるようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均89点(最高点90点)である。全員がAまたはBを取得しており、目標はほぼ達成されたと考えられる。「到達度自己評価」では、平均値が4.1～4.3の間に留まってはいる。本年度は「初年次教育」の開講に合わせて講座内容に「遊び体験」や「お話発表会」などを取り入れ、より保育に関する講座を充実させた。学生は積極的に取り組んでいたものの、教員側の配慮や援助を工夫することによって、さらに改善できるのではないかと考えられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は各科目で学んだことを意識しながら、保育に関する学びを深められるよう配置された科目である。「受講動機」に関しては必修科目であるためであるが、「到達度の自己評価」は「自分なりの目標を達成した」が4.1である以外、すべて4.3を示している。このことより、学生は各取り組みの中で求められていることを理解しながら課題を達成できたのではないだろうか。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価は4.3(全項目)であり、昨年度と比較すると全般的に高くなっていた。講座内容の見直しによって、学生に目的が伝わりやすく、より学生自身が主体的に取り組めたという意識が強くなったのではないかと考えられる。次年度も引き続き、活動の意義を明らかにし、学生が相互に意見を出し合えるような働きかけをしていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標が達成できたと考えられる。「評価」については、適切な範囲で学生が意識できるように説明し、次年度も学生自身が考え、主体的に参加できる授業になるように心掛けていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、卒業必修科目であり、授業評価においても全員「必修科目である」と回答されておりきちんと認識されていることがわかります。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、DP4、DP5に該当しますが、授業評価からはどの項目も4.7～5.0と高値を示しており、意識たかく受講してくれたことがわかります。特にこの科目で「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4.9であったことは、意外でもありました。実践を通して、受講生達がよく調べ、よく考えて大学祭の企画に取り組んでくれた結果であると思っています。</p> <p>しかしながら、1名、退学することになったことは、非常に重く受け止めています。最後まで、この授業時間だけは来てくれて、笑顔で他の受講生達と取り組んでいました。何の違和感もなく受講していた姿を見ていたため、退学まで考えていたことに気付いてあげることができなかったことは、本当に申し訳なく、私の力不足だと反省しています。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、卒業必修であり、DP、CP、カリキュラムマップ上の位置づけは明確であると認識しています。その為の内容を学科統一でおこなっています。各ゼミに課されている「行事の企画」は、大学祭への参加としています。特にこのゼミでは例年、1・2年生が協同で大学祭を企画運営することを絶対条件としています。そのための準備として、1年生が入学してきた時から、関係性構築を促し、10月の大学祭を迎えます。2年生の姿を見ることにより、見通しを持った短大生活を送ることが出来るのではないかと考えています。この目的は、カリキュラムマップという教務上のことではなく、もう少し大きな意味で捉えています。その観点でもって、内容は学科統一のものではありますが、ゼミのオリジナリティーを持ってゼミ運営しています。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>ゼミでは、できる限り自分達で考え、行動することを目標としています。子ども達に支障が出ない範囲で「失敗」も経験させたいと思っています。授業評価においても「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに対応する機会が作られていた」と7名中6名がかなりそうだと思うと回答し、1名がわりにそうだと思うと回答されていた。決して、私から聞いていたわけではなく、学生から積極的に求めることが多かったと振り返っています。学生達の求める姿勢がすこぶる良好であったため、このような回答になっていると思います。今後も、学生達が自然と求めてくる、求めたくなるような関わりをしていきたいと思っています。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>特に大学祭への参加は、「過酷」と言ってもいい程の時間と労力を求めます。それにも関わらず、自己評価がどの項目も高かったことは、学生さん達の意識の高さだと思っています。この科目の評価はひとえに、その学生さん達の学習への姿勢の素晴らしさだと認識しています。次年度は、この学生さん達の学習への姿勢をどのように引き出していくべきか分析し、同様な科目運営ができるように活かしていきたいと思っています。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受講動機は次の通り。①必修科目である100%。 ・学科における必修科目である。 ・少人数の利点を活かし、参加者相互の意見交換が活発に行われるよう演習形式で進化した。 ・グループワークを多く行い、能動的な姿勢を促した。 ・参加者各自が授業や学外実習から得た知見をグループで共有することで、事象の多面的な捉え方を促した。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験を経ての成績評価は、平均85点/100点であった。再試対象者は0名であった。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も高いスコアであった。 (8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も低いスコアであった。 (2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた (4) 自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた (5) 自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた (6) 自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた (7) 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた (9) 職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)について学ぶことができた。 (10) 職業選択の参考になった。 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学科のDPの態度 (DP4)、技能表現 (DP5) の基礎部分を担う科目として開講している。 ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.4～3.9であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・演習における各自の課題のための調査等に図書館を利用しているが、さほど自覚されていない。これは、授業中に全員で図書館に向くなど明示的・統一的な行動を「図書館の利用」と認識しているためと思われる。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考え。・図書館を授業中に明示的・統一的に利用する活動を取り入れる余地があると考え。
-------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科の必修科目である。2年間の短大での学びの動機づけや保育者・社会人として必要な基本的スキルを身につけるために、学生が主体となって考えられるように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は96点(S-8)である。すべての学生がSを取得していることから、目標は達成されたと考えている。授業評価アンケートの結果(コミュニケーション力や表現力を高めることができた4.4ポイント、授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた4.4ポイントなど)から、シラバスにある理想的到達レベルに達し、教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科の必修科目である。少人数のゼミ方式で、保育者としての「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」等を段階的に身につけるために、新入生研修でのレクリエーションの企画運営、大学祭での催し物の企画運営などを、学生を主体に行った。対象に合わせた計画を立て、実践したうえで自ら課題を見つけ改善していく姿が見られた。自己評価の達成率も4.0ポイントであったので、内容的に妥当であったと言える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>図書館利用やインターネット使用が少数の学生のみであったので、今後は全員が主体的に調査に参加できるように促したい。また、教員が提供した活動については積極的に取り組んでいたものの、学生自身が活動を提案する機会が少なかったため、学生自身が主体的に考えることができるようになっていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>他者との協同やその他の取り組み状況をみると、全体的には授業の目的は達成されたと考えられる。しかしながら、個人については課題が残っていると思われるので、個人面談などを積み重ね、少人数制のゼミの良さを生かせるように検討したい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「こども学基礎演習」では、子どもや保育に対する理解を体験を通して深め、将来の保育者としての実践力を身につけることを目的としており、また、「人間関係形成・社会形成能力」を高めるために、少人数制のゼミ毎に授業を行っている。学生たちが自己を見つめ将来像を明確にしていく過程において、身につけておくべきチームワークやリーダーシップ、また、他者に伝える力を養える内容を取り上げ、学生自らが研究テーマを見いだせるよう援助し、教員主導ではなく、学生自らが主体的に進められるよう、配慮した。</p> <p>前期の新入生研修におけるレクリエーション、後期のおはなし発表会では、ゼミ長を中心に主体的にテーマをきめ、チームワーク力を働かせ成功に導いた。2年生のゼミが行なった大学祭における「フェアトレードのカフェ出店」については、ボランティアとして参加した。計画の時期から2年生のサポートを行うなど学生の主体性が見られ、当日の実施においても、ゼミ長のリーダーシップのもとよいコミュニケーションをはかり2年生をサポートした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、①自分なりの目標を達成した(4.4)、④～⑧は4.5、⑨職業倫理や行動規範について学ぶ事ができた(4.4)、などから、全体として教育目標が達成されたと言える。達成の目安の標準レベルである「ゼミ活動に積極的に関わり、行事で自己の役割を見出し、仲間との協調を深められる。また、体験を通して学んだことを、他の授業や実習で関連付けながら理解することができる。」に対し、新入生研修でのレクリエーション、おはなし発表会、そしてボランティアとして参加した大学祭での一人一人の関わりは大変評価すべきところである。それらのイベントを学生が主体的に進めることができ、その成果を他者にわかりやすく表現することができたため、態度についても達成されたと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は保育者としての経験値を養う「必修」科目である。グループとして自ら課題を設定し、発表にむけ切磋琢磨しながら、専門分野の知識を生かし、学内外において実践できたので、妥当だったと言える。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 到達度自己評価の全てにおいて、平均として4.5ポイントであったことも、本科目の行動目標すべてにおいて、学生自らが到達できたことの現れであり、内容的に妥当であったと言える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、平均が4.2ポイントであり、大きな問題はみられないが、学習量において、活動の記録ができていなかったことが課題としてあげられる。記録の取り方について、今後検討する必要がある。また、情報利用や図書館利用についても、最新の情報に触れられるように促す工夫を検討したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>保育の体験や実践値をあげ、「人間関係形成・社会形成能力」を高めることに関し、トータルとして、学生の達成度が高かったことは今後につなげていきたいが、個人レベルでは、より細かい指導を必要としている学生もいる。極めの細かい指導を心得、一人ひとりがより積極的に関われるよう、サポートしていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、子どもや保育に対する理解を体験を通して深め、将来の保育者としての実践力を身に付けることを目的としている。保育者に必要とされる基本的な力を養うため、丁寧な個別対応を心掛けた。また、学生が主体的に考え行動できるよう意識的な働きかけを行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された				やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価として、全ての受講生がS評価であった。</p> <p>学生による授業評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質の評価」のすべての項目で約87%以上が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。しかし、「学習量の評価」では、授業準備や復習にかんする項目で約87%が1回未満、授業以外の自主的な学習に関する項目で約74%がしていないと評価している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「専門教育科目」における「総合演習」であり、保育者に求められる基本的な力を養ううえで基底に位置づけられた必修である。DPに関して、「到達度自己評価」における態度および「技能表現」を示す項目で、回答者の約87%が「まあまあにそうだと思う」以上の肯定的評価をしている。以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業では、学生が主体的に取り組むことができるよう、可能な限り学生が発言できる機会をつくっている。今年度は、北九州市が主催する「ゆめみらいワーク」に参加し、活動を展開した。企画立案から準備、当日の運営までを学生が中心となり取り組むことができるよう、意識的な声掛けや個別的なサポート、環境への配慮を心掛けた。活動後、学生から「大変だったけど、やって良かった」「子ども達とかかわることができて楽しかった」などの感想があり、保育の学びへの動機づけにつながったのではないかと考える。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の評価結果から、本科目の学習目標は全体的にはやや達成できたと考える。本科目は保育者として必要とされる基本的な力を養うことに主眼をおり、学生個々の主体性、自律性を高めることは重要な課題である。次年度も、学生個々がこのような力を育むことができるよう、改善策を講じていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・授業では、実際に子どもたちと関わることを想定し、子どもの年齢や発達の状態、個別の興味・関心といった具体的な設定をしながら、実践力が身につくように内容を工夫して行った。</p> <p>・学生の主体性を伸ばすために、教員からの提案は最低限度にとどめ、必要な情報を提示したのちは、学生が積極的に意見を出し合い、協力して計画を立て、実践していけるように心がけた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				やや達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・全体を通しては、学生が文献やインターネット等を活用して情報を収集し、積極的に意見を出し合い、課題を定めて様々な取組を行うことができたと思われる。その結果、それぞれが遠慮することなく自己表現ができるようになり、技能表現もおおむね適切な形でできていたと思われる。メンバー相互の交流も望ましい形となった。</p> <p>・しかし態度の面では、メンバー同士が親しくなるあまり、保育者を目指す者としていただけすぎた態度になることもあり、担当者として自覚を促す必要もあった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・本科目は、専門科目の「総合演習」の科目で、他の科目で知識や技能を学んだものをもとに、学生相互で協力しながら演習を行う授業であり、必修科目である。学生が主体的に行動に出るまで苦慮する面はあるが、保育者を目指すものとして得た知識や技能を生かし、協働しながら活動ができています。内容的には妥当であると考えます。</p> <p>・行動目標からみても内容的妥当性は、得た知識や技術をどのように実践につなげばよいのか戸惑う場面はあったが、実践していく中で、どのように展開していくかが実感することができたようで、学生の主体的な学びにつながっていたと思われる。</p> <p>・よって、内容的妥当性に問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン ターネット利用」学生の意見など</p>	<p>・入学直後の前期には、学生に対して必要以上に情報を提示したり、アドバイスをしたりすることがあり、学生の自主性や主体性を尊重できていない場面があったと思われる。後期になって学生が主体的に課題を決めて協力しながら取り組むことができるような対応を心掛けたところ、徐々に積極性が出て、結果的に学生相互で達成感を感じられる活動につなげることができた。今後の学生の主体性を重視した対応を工夫していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>・学生の達成度自己評価とトータルの成績より、概ね授業の目的は達成されたと思われる。上記の反省を意識しながら、学生の主体的な学びを促すような授業を心掛けたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学内外での活動を通じて、体験的に学習していくことを目標に授業を計画した。受講生は、地域の子育て支援への関心を持って選択していた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された				やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生は、自分たちで子育て支援や子どもふれあうプログラム内容を計画し、実施した。また、外部講師によるワークショップに、スタッフとして参加することで、受講生の知見や技術も向上したと思われる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育職を目指す学生を対象に、地域での子育て支援の実践と、自分たちで企画した活動を実践することを中心に授業内容はくまれている。保育に対する意欲と関心を高め、保育の表現技術やコミュニケーション能力を実践的に高める内容であったと評価できる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方は実践的であった。実践した内容を他の講義内容とリンクするような言葉かけをしていくことにも重点をおいた。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>授業目標は概ね達成されている。学生の自己評価も十分に高い。今後も地域での実践を重ねること、さらに他大学の学生との交流の機会を持ちながら受講生の視野を広げていく内容にしていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この演習は、ゼミ形式によって、自然・人間・社会に関わる課題を鑑みながら、それにどのように対応するのかという、個々のアイデンティを解明するために、ファンタジーの世界観を探求するものである。幼児教育を学ぶ学生たちが必ず通らなければならない道であり、児童文学作品を題材として、ネガティブなものが肯定的に変化する重要な役割がファンタジーの本質であることを学び、それを「子ども世界」から探し出し、これだ！という答えを見つけることを、主眼としている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	非常に熱心に取り組み、毎回のプレゼンもすぐれたものであった。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の位置付けから見た内容的妥当性については、90%は活かされていると思われる。まずまずの達成の域に入っているものと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>改善策としては、欲を言えば、制作作品の数をもう少し、増やすことが出来ればと思う。学生の制作したファンタジー絵本は非常に内容も充実していたので、後輩に残すためにも、手本となる作品の数をふやしたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>総括的には、最終講義までには、達成できたと思われる。</p>
------------------------------	-----------------------------------

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	末嵩 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本年度より、この科目を担当した。初めての担当だったが、学生と話し合いながらゼミの活動内容を決めていった。この授業に関してはできるだけ学生が体験学習ができるように、また学外での学習も積極的に取り入れた。体験学習が多いゼミであることは事前に学生に周知し、結果としてそれを望んだ学生が受講している。</p> <p>卒業必修科目ではあるが、本ゼミを選択した学生はそうした動機であると考えられる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果は高い点数であった。学生が望んで入ったゼミだったため、できるだけ学生たちの希望に添った内容ができるよう配慮した結果だと考えられる。</p> <p>また学習が辛いものではなく、楽しめるものであるよう常に工夫を行った。自由記述に「楽しい授業でした」と複数の学生が回答している。学外研修として、宿泊型の研修も行った。野外体験や集団生活の体験学習内容ではあったが、卒業を控えた学生たちの思い出づくりともなり、満足度は高かったと推察される。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門教育科目」の「総合演習」に位置付いている。少人数の単位で、仲間意識を高めながら教員の指導の下で活動内容を企画し実施する内容であり、また保育者としての専門性も求められるため、内容は妥当であると考えられる。またDP1に関しても、一年次に引き続いてより専門的な内容で体験できる機会が多くなり、DP1についても妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生とこの都度話し合いながら、一年間の授業を進めてきた。こちらから提示する活動もあったが、学生からの賛同も得て進めたため、満足につながったと思われる。但し、事前学習などの課題が少なかつたため予習復習、自発的学習を行った学生がほとんど居なかつた。 次年度も、「体験学習」「学外研修」の枠組みは持ちながらも、学生との話し合いのもとで授業を進めていながら、自発的学習を促せるような必要な課題を提示したい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>総括的に学生の満足度は得られたと考える。</p>
-------------------------------	-----------------------------

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科の必修科目である。一年次の「こども学基礎演習」での学びを踏まえた上で、より専門的に保育の内容に特化したゼミ活動を展開している。実践活動は実習でも行うが、それは常に全てを評価されるという緊張感に包まれているため、ゼミ活動では保育の一環として責任感を持って活動しながらも、ゆったりとした雰囲気の中で遊びを展開していくことを目的としている。対象は子どもから高校生、親子など様々であるが、内容は学生自身が主体となって考えられるように働きかけるように心掛けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均93点(最高97点、最低84点)であり、目的は達成されたと考えられる。評価はグループ討議での積極的発言や製作への取り組み、準備への貢献度などを中心に行った。より対象が楽しめるように作品や内容を吟味するため、授業時間以外も活動を行ってきた。しかしながら、積極的に活動する学生への負担が高くなる傾向も見られたため、次年度以降の改善に活かしたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科専門教育科目の必修でもあり、学生は保育科教員の専門性に依拠して自らが選択した担当教員のゼミに配属されている。本ゼミはボランティアも含む保育活動を展開しているが、実習での経験を基に学生自身が対象を中心とした実践を行い、実践後は課題を明確にしたうえで次の活動や実習に活かしている。これは対象に合わせた計画を立て、実践したうえで自ら課題を見つけ改善をしていくという、保育者として必要とされる資質でもある。学生は「到達度自己評価」において、4.6(6項目)、4.7(4項目)を示しており、課題に向き合いながら達成していったという自信にもつながっているのではないかと考えられる。</p> <p>以上のことより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価は4.7(2項目)、4.8(3項目)であった。学生たちが興味・関心を持つゼミ・教員を自ら選択しているためであることも考えられるが、実践を通して学生たちの達成感や満足度が高かった(到達度自己評価4.8-10項目)ことも影響していると考えられる。学生は、教員が提供した活動について、対象に配慮した展開ができるように積極的に取り組む様子がみられた。次年度も学生が主体的に考えることができるようにしていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>他者との協同やその他の取り組み状況を見ると、基本となる授業の目的は達成されたと考えられる。次年度は活動の幅を広げ、研修会などへの参加等状況に合わせて積極的に取り組んでいきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、卒業必修科目ですが、受講生の授業評価アンケートでは「必修科目である」と全員が回答できておらず、科目の位置づけのオリエンテーションが不十分であったのかな、と反省しています。</p> <p>この科目では、実践力を養うことを目的としていました。そのために、実習以外でできる限り子ども達と多く触れあう機会を設けようと、子育て支援イベントを毎月実施できるように環境を整えました。今年度は、地域連携室の助成金もいただき、受講生が求める十分な環境を整えるよう努めました。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>成績評価は、全ての学生が理想レベルに達していると評価しました。しかし、学生自身の評価は、科目担当者の評価と比較すると低く、授業評価アンケートでは、平均値が4.3～4.7でした。行事が立て続けにあることにより、「反省点」がクローズアップされ、自己評価を下げたのではないかと分析します。しかし、科目担当者から見ると全学生、実践力がついてきており、自信を持って現場に送り出すことができるレベルであると思っています。きっと、彼女たちが現場に出た時に、自分自身の成長を実感してくれるのではないかと考えています。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP、CP、カリキュラムマップ上での本科目の位置づけから、実際の子ども達や保護者を相手にした実践の場での活動を内容としました。このことは、この科目が2年間の総まとめであり、関心ある領域を極めていく科目であることから、内容的には妥当性があると思っています。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>4(2)に記したように、学生さん達の自己評価の低さが課題だと感じました。毎回のイベントが終了した際、反省会や次回の打ち合わせをする際、改良しなければならない事項ばかり取り上げていたのではないかと振り返ってみて反省しています。もっと、彼女たちができたこと、よかったこと、褒めてあげるべきだったと思いません。私の中では、イベントそのものよりも、その振り返りの時が一番重要であると位置づけています。この振り返りを、自己肯定感、自己効力感につなげていく必要があると、次年度改善すべき私自身の課題であると思っています。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>6. に記載した通りです。</p>
-------------------------------	----------------------

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目であるので学生は全員受講している。一年次の「こども学基礎演習」での学びを踏まえた上で、学生自らが様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し解決できるように指導を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は84.7点(S-6、A-3、B-1、C-2)である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、保育者として自己分析ができ卒業までの課題を発見し適切な計画を立てることができるようになっていた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「総合演習」に位置づけられており、卒業必修科目であるため受講の意欲は高い。成績評価を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、自己評価の達成率も4.3ポイントであったので、内容的には妥当であったと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言 できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・行動する 姿が見られたが、発言する学生に偏りがみられるため、すべての学生が発 言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。また、図書館や インターネットの利用率が低かったため、積極的に利用するように促したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと 考えられる。学生の意見がより反映できるように個別面談を行ったが、次 年度は少人数制のゼミの良さをより生かせるように丁寧な指導を行ってい きたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>こども学特別演習は、保育に関連する学びの総合的な科目として位置付けられており、こども学基礎演習やその他の科目で学んだことを土台として、ゼミごとにテーマや活動内容を決めて、それぞれに実践的に学びを深める科目である。今年度は、1年生後期で学習した「キリスト教保育」に基づき、「世界の子どもたち」をテーマに、学生たちが主体的に調査・研究を進め、具体的にその学びを社会に還元できるよう、前期ではYMCAの留学生との交流、後期では1年生と共同で大学祭にてフェアトレードのカフェを出店した。</p> <p>また今年は昨年に引き続き、「世界のこどもたち」というテーマを学生自らが選択し受講したため、ほとんどの学生が意識が高く主体的に活動していた。後期は、大学祭の出店のみならず、クリスマス礼拝での劇のボランティアと募金のためのバザー出店を積極的に行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、①自分なりの目標を達成した(4.5)、⑥専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた(4.7)⑨職業倫理や行動規範について学ぶ事ができた(4.7)、平均値(4.6)がなどから、全体として教育目標が達成されたと言える。達成の目安の標準レベルである「積極的にゼミ活動に参加し、計画的かつ継続的に研究課題に取り組むことができる。」に対し、専門分野の学びや行事の実施においても、学生が主体的に進めることができ、自らが設定した研究テーマに積極的に取り組みことができたため、態度についても、達成されたと言える。トータルの成績の平均値は約85%以上であり、達成の理想レベルである「研究課題に対し、ゼミ教員と相談しながら主体的に進めることができ、その成果を他者にわかりやすく表現することができる」という内容に関しても達成されたと言える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 グループとして自ら課題を設定し、フェアトレードの研究を進め、大学祭においてフェアトレードのNGOとタイアップをしながら出店を経験し寄ったのみならず、こどもたちが世界を知ることができるような部屋を用意し、こどもむけの企画を行なった。これは、学生たちが専門分野の知識を生かし、行動目標である「学外者と協力して保育に関する活動を企画運営する」ことができたと言える。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 到達度自己評価は平均として4.6ポイントであった。本科目の行動目標①②③すべてにおいて、学生自らが到達できたことの現れであり、内容的に妥当であったと言える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、平均が4.5ポイントであった。学習量において、活動の記録ができていなかったことが課題としてあげられる。記録の取り方について、今後検討する必要がある。また、情報利用や図書館利用についても、最新の情報に触れられるように促す工夫を検討したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>トータルとしての学生の達成度が高かったことは今後につなげていきたいが、個人レベルでは、より極めの細かい指導を目指し、一人ひとりがより積極的に関わり、一部の人の負担を負うことができるようなゼミ作り、チームワーク作りを目指したい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育に関連する学びの総合的な科目として位置付けられている。本ゼミでは、保育と福祉の関連や保育者に必要な福祉的視点を養うことなどに主眼をおいたゼミ活動を行っている。今年度は福祉に関する知識的理解を高めるための講義、障害児向けのレクリエーション教材の作成、保育者の職業理解を促すことを目的とした施設の文化祭の見学等を行った。また、学生自身が責任感をもち、能動的に活動できるよう学生主体のゼミ運営を心掛けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績評価として、全ての受講生がS評価であった。</p> <p>他方、学生による授業評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」の項目に関して、全体的に肯定的な評価がなされている。しかし、「学習量の評価」では、授業準備や復習にかんする項目での約80%の学生が1回未満という評価をしている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「専門科目」における「総合演習」として、保育者・社会人としての人間形成を行ううえで基底をなす位置にあり、必修である。DPに関して、「学習達成度の自己評価」における態度を示す項目で、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。</p> <p>以上から、内容の妥当性に問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>ゼミでは、学生が主体的に取り組むことができるよう、可能な限り学生が発言できる機会を提供することを心掛けている。学生が自らの興味・関心に基づきゼミ選択を行い活動に取り組んでいるためか、到達度自己評価の項目に関して肯定的な評価をしている。また、今年度は昨年度の課題を踏まえ、学生の主導性を高め、主体的に考え行動できるよう、ゼミ運営の改善を図った。具体的には、ゼミ活動をゼミ全体で行うものと、小グループで行うものに分け、それぞれの活動における役割を明確化、ゼミに所属する全ての学生がリーダーもしくはサブリーダーの役割を担い、担当する活動を責任をもって主導的に遂行するというものである。1年間の活動を終えた学生からの感想として、「計画通りに企画や活動が進まず大変だった分、担当の活動が終わったあとは充実感をえることができた」「グループで活動を行う大変さと出来上がったときの嬉しさを味わうことができた」などがあり、学生が主体的に取り組めるゼミ運営につなげることができたのではないかと考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の評価結果から、本科目における学習目標はやや達成されたと考える。主体性や自律性は、保育者として必要となる基礎的能力の一つである。次年度も、保育者に必要となる能力を高めることができるよう意識的な取り組みを行っていくとともに、学生が主体的にゼミ運営に参加できるよう継続的に検討を加え、必要な改善を図っていききたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育・教職実践演習(幼稚園)	2	後期	選択	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格取得における必須科目であり、在学時における実習を全て、また保育に関する学びの大半を終了した学生たちが受講している。本科目に至るまでに学生が経験してきた学びを活かし他の学生と共有できる講座、学生にも親しみのある卒業1年未満の卒業生を招いて新任の保育者としての心がまえを伝える講座など、実際にロールプレイを行ったり人との協働の大切さを感じられるように構成している。また、今回は保育者の実践記録を基にグループワークを行い、保育の在り方について考える講座を取り入れ、客観的な視野で保育をとらえられるよう配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された		やや達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均点83点(最高点97点、最低点60点、A-13名、B-42名、C-22名、D-6名、E-7名)である。学生により評価にばらつきがみられるものの、半数以上の学生はAまたはBの評価であり、全体としては目標の達成に近づけたと考えられる。また、学習量や図書館・情報の利用も通常の講義と比較すると行っている学生は多く、自ら授業に向けて積極的に取り組んでいるようである。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格取得における必須科目であり、学生は主体的に学ぶ姿勢ができている。講座の中では授業や実習の中で獲得してきた知識や技能を十分に発揮するために事前準備や振り返りをしっかりと行っている学生も多い。その結果「学習到達度の自己評価」も概ね「まあまあそうだと思う」以上を選択されている。以上のことより、内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業はオムニバス形式でそれぞれ専門の教員が担当している。模擬保育では各クラス毎に担当教員が異なるが、事前に入念な打ち合わせを行うことはもちろん、授業実施の都度主担当との打ち合わせを行うことで全クラスの評価が統一されるよう配慮している。また、学生は模擬保育などのロールプレイにおいて、準備から実践及び与えられた役割に真摯に取り組み、お互いが高めあう関係性がみられた。昨年度の課題であったグループワークは、互いに意見を出し合う姿が見られた。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学生の授業評価及び授業への取り組み状況からは、概ね本科目の目標は達成できたと考えられる。今後もより学生が関心を持つとともに保育者としての課題を見出し解決していけるような授業を展開していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育実習指導	1～2	四期	選択	いいえ	96

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は幼稚園教諭免許状取得のために必要である「教育実習」と関連した科目であることを学生も理解している。そのため、免許状取得を目指す学生は全員受講している。</p> <p>同実習関連科目である「保育実習指導」との関連性も考慮した上で内講座を展開しており、入学時から全実習終了まで、さらには卒業後を意識したものとなっている。特に1年次は学外実習に出ることを鑑み、中学校・高等学校で経験した体験実習とは異なる保育者としての視点を持った子どもとのかかわりができるように指導している。前期には附属幼稚園での「見学実習」で観察の仕方、記録のまとめ方、考察の仕方の基礎を学び、後期は実際に観察を中心としながらも手あそびや絵本の読み聞かせなどの部分保育、保育者としての視点を持ちながらの子どもとの関わりが持てるようになることを目指して指導している。2年次は手作り教材の発表や短時間の指導計画を立てての実践、最終の実習では全日を実習生が担当する機会をなるべく持つなど、より保育者として責任を持った実習を体験できるように指導している。授業では、これらの実習で少しでも学生が自己を発揮できるように、発表の機会や指導計画・日誌の添削、報告会実施による他者との学びの共有など、学生の学習準備性に合わせた授業計画を立てている。各実習終了時には個別の面談時間を設け、自己課題を克服できるように働きかけている。</p> <p>また、欠席した学生へは理由を考慮したうえで指導し、必ず全授業内容を補完するようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は、平均点87.8点(最高点97点、最低点60点、A-15人、B-51人、C-21人、D-4人)である。実習訪問や実習園からの評価表においても、概ね高い評価を受けており、実習を重ねる毎に学生の課題が克服されているようである。科目内での課題の提出や教材研究の実践を含めて教育目標は達成することができていると考えられる。</p> <p>また、図書館利用やシラバスの活用も通常科目よりも多くなされており、学生が自ら学ぶ意欲や実習に向けて真摯に取り組む態度が育まれている。一方で、授業に向けての準備や事後の振り返りが必要な科目であったにもかかわらず、「0回」の学生が多くなる。授業時に全体に働きかけることはあるが、提出物等があまり積極的でない学生に対する個別の働きかけを今後取り入れていきたい。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>幼稚園教諭免許状取得のための必須科目であり、実習に必要な計画を立てているため、学生の受講意欲は高いと考えられる。また、DPを達成することができる様、他の科目との連携や学習の連続性を考慮しているため、内容的妥当性については問題ないと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方については、全体、2クラス制、1クラス制など講座内容によって取り入れており、特に学生からの指摘はない。このことから、今後も学生の理解度や習熟度を鑑みたくえて、授業の進め方を組み立てていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。今後も他の関連する実習との整合性や授業の進捗状況による学生の準備性を意識した授業を展開して行けるよう取り組んでいきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導 I	1	通年	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育所実習 I、施設実習 I を対象とした実習指導であり、1年生の通年科目である。実習に向けての事前事後指導および、保育職の多様さ、他職種との協働を含めた保育現場への心構えの育成が授業の重点課題である。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	多くの学生到達度の自己評価が高く、受講態度もまじめに取り組んでいた。実習先からの評価も十分であった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>実習指導は、さまざまな科目により得られた知識と技術を実習で総合的に実践できるように支援するという位置づけであり、すべてのDPに関連する総合的な科目である。そのため、生活全般にわたるような自己課題の設定と振り返りなど、学生自身を見つめ直す機会となるような内容になっている。また、卒業後の進路とも直結する内容であった。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>複数の教員が担当している科目であり、教員間の連携が重要となる。また、他の実習指導担当者との連携を図る必要があり、授業外での打ち合わせの時間を確保した。受講生に対しては、実習の重要性やそれに伴う実習指導の重要性を繰り返し伝えて、受講態度の改善を図る工夫をした。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学外での実習を無事に終え、それぞれの園・施設からの評価も概ね良好であり、実習指導としての目的は概ね達成できていると考えている。また、実習終了後の振り返りで、学生の学びを深めることもできていると考える。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅱ	2	通年	選択	いいえ	63

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育所実習Ⅱのための指導を行う科目であり、乳幼児の発達の特徴や保育士の役割の理解を深めるとともに、学生の生活技術や社会人としてのマナーなどを含めた指導と助言を行っている。実習先の多くは、保育所実習Ⅰの実習先であり、前回の実習よりもさらに充実した内容で実習できることを念頭においている。また、2年生での実習は就職活動とも関連している要素があり、将来を見据えて実習に取り組めるように指導している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講した学生のほとんどは、実習を無事に終了し、実習により児童福祉施設やそれを利用する子ども達への理解を深めていることから、教育目標を達成しているものと考えている。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容的妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは難しいが、実習生に対する実習園からの評価からは、おおむね妥当であったと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>保育実習指導Ⅰや保育実習指導Ⅲ、さらには教育実習指導との連携を密にし、過不足なく実習指導が行えるように、内容の精査を重ねていく必要がある。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学生の実習中の様子や事後指導の様子から実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習園からは、多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つことが課題といえる。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅲ	2	通年	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>施設実習のための指導を行う科目であり、様々な児童福祉施設の特徴や役割の理解を深めるとともに、学生の生活技術や社会人としてのマナーなどを含めた指導と助言を行っている。また、2年生での実習は就職活動とも関連している要素があり、将来を見据えて実習に取り組めるように指導している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講した学生のほとんどは、実習を無事に終了し、実習により児童福祉施設やそれを利用する子ども達への理解を深めていることから、教育目標を達成しているものと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容的妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは難しいが、実習生に対する実習機関からの評価からは、おおむね妥当であったと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に
お示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン
ターネット利用」学生の意見など

保育実習指導Ⅰや保育実習指導Ⅱ、さらには教育実習指導との連携を密にし、過不足なく実習指導が行えるように、内容の精査を重ねていく必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の実習中の様子や事後指導での様子から実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習機関からは、多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つことが課題といえる。

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
スポーツ実技	1	前期	選択	いいえ	80

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目であるとともに資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学年は1年生(通年)であり、今後資格を取得するために、自己の体力について把握することは大切である。また、授業だけではなく卒業後も生涯スポーツとして運動を続けてもらうために、さまざまな競技を行いルール理解や技術習得ができるように工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	最終的な成績の平均は91.7点(S-56、A-13、C-6)である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「一般教育科目」における「自然科学系」に位置づけられており、卒業必修科目である。また、幼稚園教諭免許の必修科目でもある。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>体力測定を前期の4月と後期の1月に行うことにより、学生自身が1年間の体力の変化を把握できるようにした。また、さまざまな競技においてゲーム形式だけではなく、技術習得のための練習を取り入れ、学生がお互いに教え合うなどの姿が見られた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。バレーボールやバドミントン等の競技だけでなく、フットサルやホッケーなどの競技もできるように、環境や道具を整備したい。また、安全管理のために今ある古い道具を新しくすることを検討したい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
女性史	1	後期	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>近代日本の女性史を解説し、現在に続く問題の所在を確認し、特に、教育制度やメディアが意識形成に与えた影響を取り上げながら授業を進めた。初回に年表を配布し、明治時代、大正時代、15年戦争期、高度成長期、21世紀までの流れを確認した。現在の社会経済フォーラムが示す日本の女性の地位の低さの原因を歴史的背景に見出し、産業化と女性の民主化と関連付けて理解できるように、教科書を活用した。保育科であることから、子育て役割が女性中心になっている現状の課題を取り上げ、意見を表明できるよう意見交換の場を設けた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の中で、提出されたミニレポートでは、現代の女性の地位における課題を理解していた。しかしながら、それらを歴史と結びつけて理解したかについては、試験の結果からみると、上位者と下位者の2極化している。授業の感想においては、「難しい、理解するのが大変」などが上がっており、歴史に関する基礎知識量の差が原因と思われる。さらに、予定していた教科書が絶版となっており、毎回ごとに印刷して渡したため、学生にとっては全体的な流れが見えにくかった点も原因の一つといえる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>試験結果から、一部の学生においては現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題と日本の女性の近代化と結びつけた理解は不十分ではあった。しかしながら、子育てに関する記述に関しては理解を深めてはいた。おおむね内容的妥当性は認められるが、各生徒の歴史的知識をふまえた上で講義を進める必要はあった。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>初回の授業で、各生徒の歴史的知識を測る。特に、授業では近現代史が中心となったが、高校までの歴史の授業では知識量の不足がある。また、視覚的な資料を多用し、感覚で歴史上の変化をとらえさせている。今後は、教科書は使用せず独自の資料集を作成するとともに、学生には史料の確認を図書館やインターネットで行うようはたらきかける。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>女性史は範囲が広いので、主に日本の近代史を中心に絞って授業を進めた点は評価できる。生徒の関心を現状のジェンダー課題、すなわち固定的性別役割分担意識に集中させることができ、知識の理解を深められた。今後は、世界史との関連をある程度取り込みながら、思考力を高めるのが課題である。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
文学	1	後期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>文芸学の諸問題について考察し、それが具体的に文芸作品とどの様に関わってゆくのか、を追求するものである。学生自身の進もうとする専門と文学が何故繋がっているのか、そこが明確でなければ、文学という講義を忽ち馬鹿にしたり、必要ないものという浅はかな判断結論でくってしまうからである。生きていくことは、自分を表現することであり、言葉が表現手段のひとつであること、私たちがドラマや映画を見て感動することは、すなわち、自身の人生を客観的に眺めていることであり、その域が文学的に解釈することであり、それを文で表すものを文学作品ということを示し、学生がこれからの人生を生きていくうえで賢い判断力が定着するよう、望みつつ、講義をしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>講義を重ねるたびに、学生の考察力が深まってゆくのを感じた。特に熱心な学生の集まりで、一人一人切磋琢磨しながら真摯に講義を受け止め習得していたようである。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容的妥当性については95%は活かされていると思われる。学生たちが思いのほか優秀なので達成の域に入っていると思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>数々のテーマについて講義したが、もっと学生が語り合えるような設定講義であれば、更なる充実が期待できたのではないかと思います。この度の学生の質と講義のタイミングが非常にマッチしていたと思われる。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>達成状況は良かったが、受講生がもっと多いほうが活性化したはずである。魅力的な展開をめざして工夫してゆきたいと考えている。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	森 敦嗣

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本国憲法	1	後期	選択	はい	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は選択科目ではあるが、保育士資格を目指すものにとって日本国憲法は必修である。しかし、保育士を目指すものにとっては一見関連性がなく、学生たちにも学ぶ意義が見出しにくい科目である。そこで今年度の授業では授業冒頭で、近いうちに憲法改正の投票が行われる可能性があることを説明し、国民投票において自分が賛成か反対か投票する意味でも、日本国憲法の内容を知っておくことに大きな意義があることを学生たちに認識させた。さらに授業の合間合間にアクティブラーニングとして映像を使った模擬裁判を行い、グループで討論させて意見をまとめさせた。</p> <p>②普段の生活では聞きなれないような難しい専門用語を学習することが必要なため、毎回配るレジュメの最後に必ず本日の講義のポイントとなる部分をまとめた問題を入れ、毎回の授業最後に学生に解かせることで知識理解を定着させるようにした。</p> <p>③後半の授業で解説した「首相公選制」「集団的自衛権」「裁判員制度」といったそれぞれの制度について賛成か反対か、その理由も含めて学生たちに自分の意見を書かせた。さらに同様の問題を期末試験にも盛り込み、学生たちが授業で学んだ事柄について自身の考えを理論的に書いているかどうかを評価した。</p> <p>④映像授業として、模擬裁判を行うための資料映像を使用し学生たちのグループ討論を行う際の参考とさせた。さらに裁判員制度の広報映画を見せ、学生たちも将来参加する可能性のある裁判員制度への理解とその重要性を認識させた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>知識理解については、成績の平均値がABクラス、CDクラスとも試験を作成したこちらの想定より下回ってはいたが、成績不良で単位を落とした学生は最終的にはいなかった。ただ再試対象者が数人出たことは今後の課題である。学生の到達度自己評価に関するアンケートでも多くの学生が肯定的評価をしており、知識理解の面からは目標は十分達成されたといえる。また前年度の課題だった「コミュニケーションや表現力を高めることができた」の項目が平均値3.5と、前年度より平均値が上がっていた。これは新たに実施した模擬裁判を使ったグループ討論の授業がよい意味で影響していると考えられる。このグループ討論は学生たちからも好評であったため今年度も引き続き実施していく予定である。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は選択科目ではあるが、一般教育科目の一つであり、DP1に関わるものである。本学の保育科の教育目的の一つが豊かな教養と専門知識をもった保育の専門家の育成であるが、本科目はその教育目的からみても内容的には妥当性であると考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみても内容的妥当性 知識理解に関する達成度は、成績評価および到達度自己評価の平均値がほぼ3.5後半となっており達成されたといえる。本科目が保育士を目指す上で必修科目という前提があるため、多くの学生が最初から本科目に関心があり受講したというわけではないが、それでも授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習として「気になったことを調べたりした」「プリントを見直した」という回答があった。授業を通して関心を持ち始めた学生がいたことは喜ばしいことであるし、今後もっと高めていきたい。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた」についての回答は平均値3.9であり、全員が肯定的評価をしていた。これは今回から行ったグループ討論の講義が非常に高評価だったためと考えられる。反対に「テスト、レポートの評価基準は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」についての回答は一部とはいえ否定的評価があった。自由回答からも「説明がよくわからない」という回答があり、授業の内容をもっと理解しやすいものに改良することは今後の課題である。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目のかねてよりの課題であった学生が自発的に発言するアクティブラーニングの面については、新たに実施した模擬裁判のグループ討論によって大きく改善されたことは、非常に大きな収穫であった。学生からの評判もよかったため、今年度以降もこうしたグループワークの機会は積極的に設けていきたい。</p> <p>到達度自己評価の平均値も前年度とそれほど変化はなかったが、いまだに一部の学生から「授業の内容が難しくよくわからない」という回答があるため、授業内容の理解度についてはまだ課題がある。原因としては日本国憲法が普段の生活からはイメージしにくい科目であることが挙げられるが、今年度は憲法改正のための国民投票が行われるのではないかとされており、日本国憲法が国民の生活に非常に関係する年になると思われる。今年度の講義においてもこうした憲法改正の話題については積極的に取り入れ学生たちが少しでも意欲関心を持つような授業を行っていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
メディアリテラシー	1	後期	選択	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・受講動機は次の通り。①必修科目である35.5%、②資格取得に必要である30.6%、③関心のある内容である8.1%、④単位数を確保する53.2%、⑤GPAをあげる1.6%、⑥友人が履修している1.6%、⑧教員に勧められた1.6%。</p> <p>・幼免取得のための選択科目である。</p> <p>・初学者の受講を想定して、テキスト、問題集の指定をした。</p> <p>・テキストの内容を理解、定着させるためには例題等による問題演習が不可欠となる科目であるため、コンピュータ操作の手順ならびに理論を解説した後、問題の演習を行う形で進めた。</p> <p>・コンピュータ操作の手順ならび理論の解説には、テキスト、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、問題の演習には、テキストの例題、問題集を用いた。</p> <p>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・定期試験を経ての成績評価は、平均78点/100点であった。再試対象者は8名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.9で最も高いスコアであった。</p> <p>(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.6で最も低いスコアであった。</p> <p>(5) 自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた</p> <p>(6) 自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた</p> <p>(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた</p> <p>(9) 職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)について学ぶことができた。</p> <p>(10) 職業選択の参考になった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・学科のDPの知識理解 (DP1)、態度 (DP4)、技能表現 (DP5)の基礎部分を担う科目として開講している。</p> <p>・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題は無いと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.7~3.9であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・図書館等の利用は、ほぼ行われていなかったが、初学者向けの科目であり、教室内における解説・演習で完結するので特段支障はない。ただし、理論が身近な場面で活用されている事例等を参照するなどを促すことも学習の深耕に資すると思われる。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	Marne Saddy

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもとふれあう英会話 I	1	後期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This course is divided into two sections; one of which focuses on building essential language skills for teaching in English, and the other which focused on designing and implementing classroom lesson plans. Weekly lessons provided meaningful practice of both listening and speaking skills through a variety of interesting children's topics. The short focused lessons allowed students to practice using functional language in very practical work related situations..</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Assessment was based on attendance 15%, class work 30%, homework 5%, dialogue presentations 30%, and a final test 20%. Students scored well in most areas of assessment with the majority of students receiving a grade in the 75-85 range.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>Through active participation, students helped to create a very positive and encouraging learning environment. Students were also encouraged to challenge their language skills by creating original dialogues, role plays and classroom teaching exercises. Overall, students improved their speaking ability by achieving a higher level of language acquisition and production.</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>Goals for the next academic year include better instruction on note taking, lesson review, and vocabulary building exercises. Although students generally performed well in class and rated themselves satisfactorily on the "I can..." targets, they often failed to review weekly lessons and could not recall the target language and grammar in the following class.</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>Better instruction on how to use class workbooks to encourage careful note taking, completion of homework and lesson review may help keep students focused on clear objectives for each class.</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2018年度後期

学科	保育科
氏名	James Hicks

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもとふれあう英会話 I	1	後期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This course focused on understanding the needs of young English learners and developing materials and lesson plans for this age group. Students engaged in practical application of skills through teaching demonstrations. The textbook, Bright and Early, offered relevant vocabulary for the students.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Students were assessed on passive participation (15%), active participation (37%), homework (4%), quizzes (10%) and teaching demonstrations (33%). Student grades were well balanced.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>Student interest was evident, and class size made it easy to engage with them individually. The skills being practiced (DP5) were both practical and useful. The average student took the opportunity to improve their skill set.</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

I will not be teaching this course next year, so I have no plans for improving the course.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

I believe that the class size should remain small to encourage more opportunities for teaching demonstrations.